

ユラリズム オート プラス HIDX

取扱説明書／保証書

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

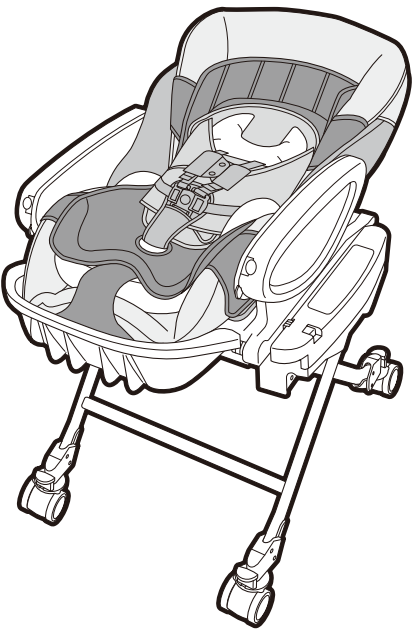
この製品は室内用の新生児※ から48カ月(体重18kg)までのお子さま1人用簡易ベッド、兼用チェアです。

※新生児とは、在胎週数37週以上で、かつ出生時の体重が2.5kg以上を満たした乳児をいいます。

ご使用前に、取扱説明書(本書)をよくお読みのうえ正しくお使いください。

お読みにになった後は、本書はいつも取り出せる場所に必ず保管してください。

本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。



目次

はじめに

ご使用前に	1
各部品が揃っていることを確認してください	1
使用条件	2
ご使用上の注意	3
本書の表示について	3
警告	3
注意	8
各部の名称	9

使用方法

各部の使い方	11
高さ調節のしかた	11
移動のしかた	11
肩ベルトの高さ調節	12
リクライニングの使い方	13
ステップの使い方	13
テーブルの使い方	14
お子さまを乗せる手順	15
本体とパッド・クッション類の組み合わせ方	17

寝かせ替えの手順	18
ホールディングパッドαの使い方	19
寝かせ替えクッションの使い方	23
スウィングの使い方	31
操作パネルの使い方	33
メロディ機能の使い方	35
縫製品の取り外し方	36
肩ベルト・腰ベルトの取り外し方	40
肩ベルト・腰ベルトの取り付け方	40
縫製品の取り付け方	41

お手入れ／その他

日常のお手入れ	45
困った時／製品仕様／保管について	46
廃棄について／SGマーク制度について	47
電気用品安全法(PSEマーク)について	47
保証とアフターサービスについて	48
MEMO	49
保証書	50

・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みをわかりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がございましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
・製品の品質向上のため予告なしに一部仕様変更する場合がありますのであしからずご了承ください。

アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〒542-0082 大阪市中央区島之内1-13-13
お客様サポートセンター TEL 0120-415-814 携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担） TEL 0570-004-155

ご使用前に

保護者の方へのアドバイス

ハイローベッド&チェアは、室内におけるお子さま用の簡易ベッドや、チェアとして使用されることを目的としています。
生後すぐは、ほとんど一日中眠っていますが、だんだん昼と夜の区別が出来ます。
夜にまとまって眠る睡眠リズムを少しずつ整えてあげましょう。

- ・ホールディングパッドα、寝かせ替えクッションは、お子さまを製品に乗せて寝かしつけた状態から寝ているお子さまを製品から抱きあげ、そのままベッドやお布団に寝かせ替えることが出来ます。
詳しい使い方につきましては本書17ページを参照ください。
- ・この製品はSGマーク被害者救済制度の対象です。但し、ホールディングパッドαと寝かせ替えクッションのみ使用の場合は、SGマーク被害者救済制度の対象となりません。
SGマーク被害者救済制度につきましては本書47ページを参照ください。

〈ハイローベッド&チェアの使用時間〉

- ・この製品の1日の使用時間は合計3〜4時間までが望ましい。
- ・スウィングは1回15分以内。
- ・スウィングのくりかえしは60分以内が望ましい。

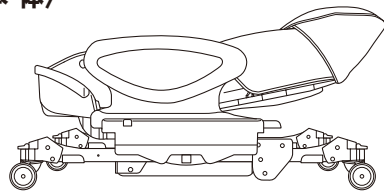
〈使用できるお子さまの年齢〉

- ・簡易ベッド：新生児からひとり座りできるまで（月齢の目安は7カ月頃、参考体重9kg）
- ・チェア：ひとり座りができるようになってから48カ月まで（参考体重18kg）

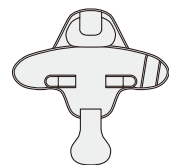
各部品が揃っていることを確認してください

- ・製品を取り出した後は、部品が揃っているか、破損がないかを確認してください。
- ・欠品や破損の際は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。（P48参照）
- ・ご使用前に、P50「保証書」に次の項目をご記入ください。
 - ①品番、ロット番号（P9「各部の名称」をご参照ください。）
 - ②お買い上げ年月日
 - ③お客様のお名前、住所、電話番号
 - ④販売店名
- ・レシート（領収書）を本書と一緒に保管してください。（P48参照）

〈本体〉



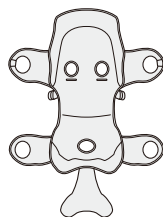
・箱から取り出した時は高さが最下段の状態です。



ホールディングパッドα
（本体に装着されています。）
（P17参照）

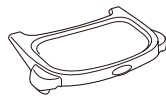


U字クッション
（本体に装着されています。）
（P17参照）

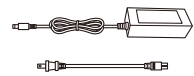


寝かせ替えクッション
（本体に装着されています。）
（P17参照）

〈付属品〉



テーブル（本体に装着されています。）
（P14参照）



ACアダプター／電源コード
（P32参照）



取扱説明書／保証書
（本書）



警告

・製品が入っていた箱、梱包部材、ポリ袋、電源コードをとめている針金入りのテープをお子さまの手の届く所に放置しない。お子さまがかぶったり、誤飲して窒息するおそれがあります。

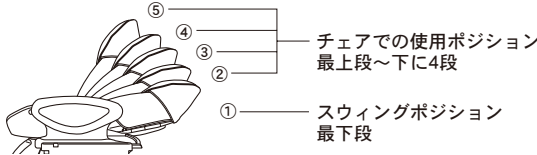


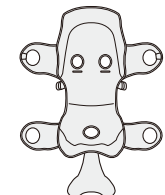
使用条件

- ・お子さまの発育に合わせて使用してください。
- ・月齢の表示は目安です。お子さまの発育により個人差があります。
- ・表中の○は使用可能、×は使用不可能を示しています。

〈パッド・クッション類の使い方〉

- ・新生児※ から2・3カ月頃までのお子さまは、包まれた感触に安心感をもちます。
お子さまの上半身を「ホールディングパッドα」でしっかりとくるみ、足元を「U字クッション」で囲んであげることで、抱きしめられているような心地よさをお子さまにもたらしめます。
- ・「ホールディングパッドα」と「U字クッション」は首がすわるまでは組み合わせてお使いください。
- ・パッド・クッション類は、お子さまの月齢に合わせ、下記の使用条件を必ずお守りください。
- ・詳しい使い方は、17ページをご参照ください。

※新生児とは、在胎週数37週以上で、かつ出生時の体重が2.5kg以上を満たした乳児をいいます。

使用期間		新生児から 首がすわるまで	首がすわってから ひとり座りが出来るまで	ひとり座りが出来てから 18kgまで
月齢の目安		新生児〜2、3カ月頃	2、3カ月頃〜7カ月頃	7カ月頃〜48カ月
参考体重		2.5kg〜7kg	7kg〜9kg （電動スウィングの荷重制限は 衣類を含めて総荷重8kg以下）	9kg〜18kg
電動・手動スウィング		○	○	×
シートベルト	肩ベルト	必ず使用	座高46cm（参考月齢18カ月）まで使用。以後は使用不可。（取り外す）	
	腰ベルト 股ベルト	必ず使用	必ず使用	36カ月まで必ず使用
リクライニング		①	① ② （スウィングは①のみ）	③ ④ ⑤
				
 ホールディングパッドα		○	×	×
 U字クッション		○	○	×
 寝かせ替えクッション		クッションマットカバーとして使用		
		○	○	○
		寝かせ替えに使用		
		×	○	×

- ・この製品はホールディングパッドαとU字クッション、寝かせ替えクッションを使わなくても新生児からご使用できます。使用しない部品は、紛失しないようご注意ください。

ご使用上の注意

本書の表示について

- ・「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表 示	表 示 の 内 容
警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

禁止図記号	表 示 の 意 味
	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止しています。

	製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。
--	------------------------

- ・思わぬ事故につながるおそれがありますので、ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

お子さまが落下するおそれがあります。

お子さまが座高46cm(参考月齢18カ月)までの時は、肩ベルト、肩ベルトパッドを外して使用しない。



36カ月までは腰ベルト、股ベルトを外して使用しない。



お子さまを座席や背もたれ、ステップなどに立たせない。



お子さまを乗せたまま走行させない。
はずみをつけたり、つき放したりしない。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

製品が転倒するおそれがあります。

傾斜や段差のあるところで移動および使用しない。



2人以上のお子さまを同時に乗せたり、シート以外のところに乗せない。



お子さま一人で乗り降りさせない。



お子さまが手を掛けたり、よじ登ったりなど、外から力を加えない。



お子さまが立ち上がって落下するおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。



可動部などに手足を挟み、けがをするおそれがあります。

スウィングさせる時以外は、スウィングロックを解除しない。



バランスを崩したり、足下が見えなくて転倒するおそれがあります。

お子さまを乗せたまま持ち上げない。



お子さまがかぶったり、誤飲して窒息するおそれがあります。

製品が入っていた箱、梱包部材、ポリ袋、電源コードをとめている針金入りのテープをお子さまの手の届く所に放置しない。



〈次ページに続く〉

**警告**

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

思わぬ事故につながるおそれがあります。

一時的なお昼寝などには使用できますが、夜間就寝用など長時間のベッドとして使用しない。



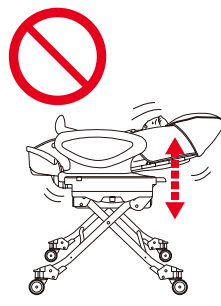
スウィングは保護者が行き、必ず付き添っていること。またスウィングは、1回15分を超えないこと。



お子さまの身体をテーブルや手すりから乗り出させない。



お子さまを乗せたままで高さ調節をしない。



お子さまに衝撃が加わるほど強くスウィングさせない。



暖房器具などの危険物の近くで使用しない。



- お子さまを乗せたまま1人で放置しない。
- キャスターロックレバーで車輪をロックしていても、お子さまが乗っている時は目を離さない。構造の機能上、耐久性などから、絶対に動かないようにできるものではありません。
- 毛布などを使用される時は可動部に挟まれないように注意すること。また、毛布などを無理に引っ張ったりしないこと。

可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、製品が身体にぶつかるなどして、けがをするおそれがあります。



高さ調節やリクライニング操作時、スウィング中はお子さまを周りに近づけない。

製品が破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

- お子さまに製品を操作させない。
- お子さまの遊び道具として使用しない。
- シートを外した状態で使用しない。
- ホールディングパッドα、寝かせ替えクッションを製品本体に装着して使用する際は、製品本体のシートベルトを外した状態で使用しない。
- ホールディングパッドαはお子さまがうつぶせになる状態では使用しない。
- 急激に力を加えたり、落下、放り投げなどによる強い衝撃が加わった後に使用しない。
- 弊社サービス員以外は分解、組立て、改造をしない。

**警告**

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

寝かせ替えの際のご注意

お子さまが窒息するおそれがあります。

ホールディングパッドαの左右の重ね部を巻き付ける際は、お子さまの口に左右の重ね部がかぶさらないよう注意する。寝かせ替えクッションの持ち手部分が、お子さまの口にかぶさらないよう注意する。



お子さまをうつぶせにしない。



お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまを抱き上げた状態で走ったり、飛び跳ねたり、前かがみになるなど、無理な姿勢をとらない。



ご使用期間内においても、お子さまがサイズに合わない場合、もしくは、お子さまを持ち上げられない場合は無理に寝かせ替えない。



ホールディングパッドαで寝かせ替えする際は、必ず股部の持ち手ベルトに手を入れた状態でお子さまを支え、もう一方の手でお子さまを抱きかかえるようにして、ベッドまたは布団に寝かせ替えをする。



お子さまを寝かせ替えする際は、必ず製品本体のスウィングロックとキャスターをロックする。



お子さまの状態や体調に注意しながら使用する。



寝かせ替え時にお子さまを抱き上げたり持ち上げたりする際は、お子さまの頭が下がったり、おなかを圧迫するような姿勢にしない。



〈次ページに続く〉

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

寝かせ替えの際のご注意

お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

寝かせ替えクッションのホルダーハーネスのパックルを外した状態で使用しない。



電動スウィングを作動させた状態で寝かせ替えしない。



寝かせ替え時にお子さまを抱き上げる際はホールディングパッドαの股ハーネスおよび左右の面ファスナーを外した状態で使用しない。



本製品、またはベッドや布団以外の製品と併用しない。



ホールディングパッドαと寝かせ替えクッションを併用した状態で寝かせ替えをしない。



階段では使用しない。



お子さまを寝かせ替える際は、周辺の物や段差など足もとに注意する。



屋外で使用しない。



お子さまを揺らしてあやすなど、他の目的で使用したり、お子さまの遊び道具として使用しない。



寝かせ替え中に、ほかの作業をしない。



警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

〈電動スウィング〉

感電や漏電による事故や火災のおそれがあります。

- ・次のような場所では使用しない。
加湿器の近くや浴室など湿気が多い場所、風雨にさらされる場所、ほこりの多い場所、強い磁気や振動の発生する場所、多量の油分が飛散する場所。
- ・濡れた手で電源コードや操作パネルを触らない。感電のおそれがあります。
- ・家庭用電源／交流100V 以外には接続しない。
家庭用電源を使用する製品の誤使用は、火災や感電など重大な事故の原因となります。
- ・製品にACアダプターや電源コードを取り付けたままにしたり、ACアダプターや電源コードをお子さまの手の届くところに放置しない。
- ・電源プラグ部にゴミを付着させたまま使用しない。
- ・座面や背もたれなど製品に水などがかった場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、水分を拭き取る。次にシートを取り外して、本体内部に水分が流れ込んでいないことを確認する。水分が流れ込んだ場合は、使用を中止して弊社お客様サポートセンターに問い合わせてください。（P40参照）
- ・異常を感じた場合は、使用を中止してすぐにコンセントから電源プラグを抜く。困った時（P38参照）を確認し、症状が改善されない場合は弊社お客様サポートセンターにお問い合わせください。（P40参照）

火災、感電、けがの原因になります。

- ・ACアダプター及び電源コードは付属の物以外使用しない。
- ・弊社サービス員以外は分解・組立・改造をしない。

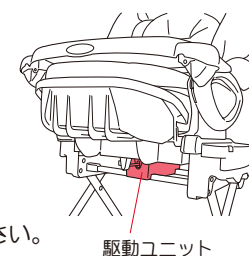
お子さまが窒息したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ・お子さまが電源コードを首に巻き付けたり、電源コードやACアダプターを引っ張ったり、なめたりしないよう注意すること。

ペースメーカーをご使用中の方は

駆動ユニットから下方に生じる磁気がペースメーカーに影響を与えるおそれがあります。

- ・ペースメーカーを座席の裏側から駆動ユニットに近づけないこと。（20cm以内）
- ※座席の下に入ったり、製品を持ち運ぶ際などに横に倒れたり裏返す場合はご注意ください。
- ※製品の周囲および座席の上方では影響を与えるおそれはありません。



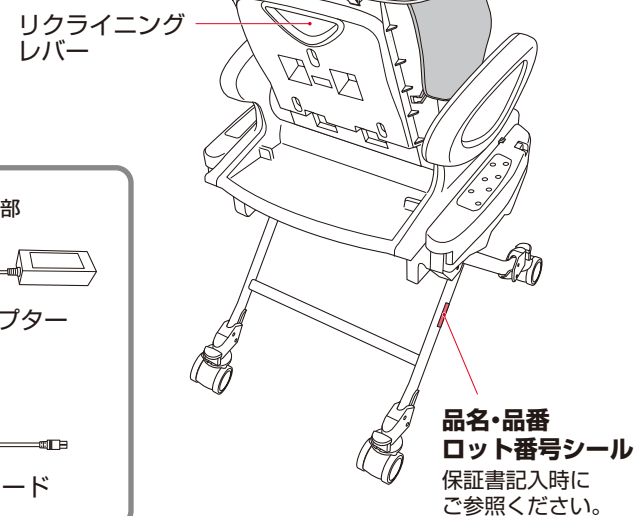
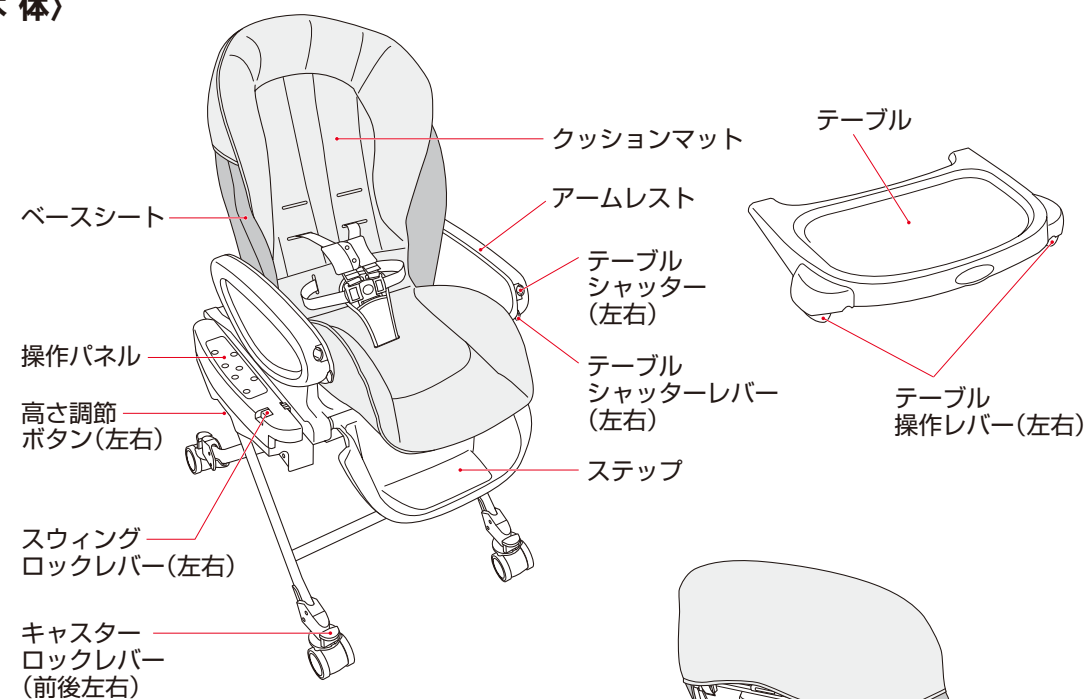
注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

- ・必ず定期的に点検とメンテナンスを行ってください。
- ・ネジやナットなどがゆるんだ状態で使用しない。
- ・簡易ベッド状態は、新生児からひとり座りができるまで（月齢の目安は7カ月頃、参考体重9kg）以外のお子さまに使用しない。
- ・チェア状態は、ひとり座りができるようになってから48カ月まで（参考体重18kg）以外のお子さまに使用しない。
- ・移動させるときに、キャスターをロックしたまま横すべりさせない。床面を傷つけるおそれがあります。
- ・火の近くに放置しない。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。
- ・荷物などの運搬に使用しない。
- ・踏み台として使用しない。
- ・保護者、介護者などが、製品に腰掛けない。
- ・屋外で使用しない。
- ・お子さまを乗せる以外の目的で使用しない。
- ・その他、故障の原因となるようなことはしない。

〈電動スウィング〉

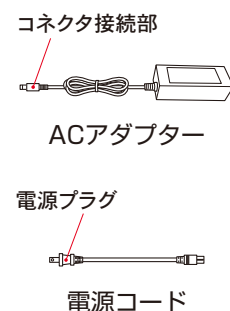
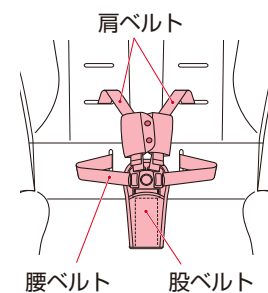
- ・クレジットカードなど磁気の影響を受ける可能性のあるものは製品周辺に置かない。
- ・電動スウィングの使用時以外は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
- ・タコ足配線をしない。
- ・電源プラグを抜く時はコード部を持たずに必ず電源プラグ部を持つ。
- ・電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、強く引っ張ったり、束ねたり、加工したりしない。
- ・電源コードの上には家具、電化製品、置物などの重い物をのせない。
- ・電源コードに外観上の損傷や接触不良などがある場合はすぐに使用を中止する。
- ・雷が発生している時は電源プラグをコンセントから抜く。
- ・出荷時に取り付けられている部品、及び弊社指定の部品以外は使用しない。破損、故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

〈本体〉

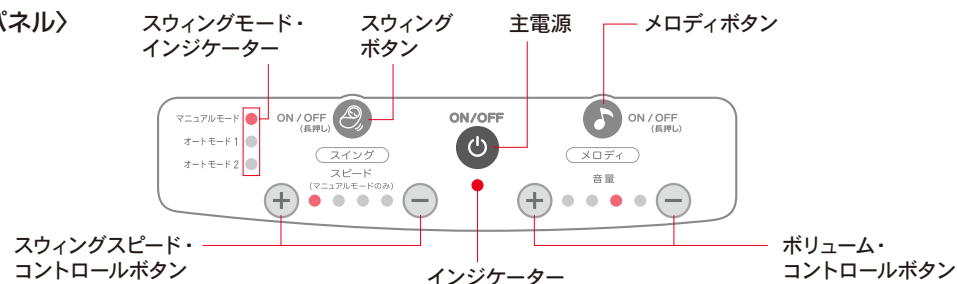


〈シートベルト〉

・シートベルトは、肩ベルトと腰ベルト、股ベルトの総称です。



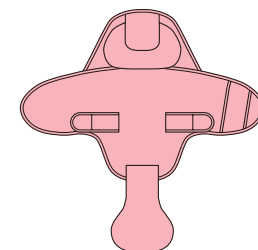
〈操作パネル〉



- ・新生児から2、3カ月頃までのお子さまは、包まれた感触に安心感をもちます。お子さまの上半身を「ホールディングパッドα」でしっかりとくるみ、足元を「U字クッション」で囲んであげることで、抱きしめられているような心地よさをお子さまにもたらしします。
- ・パッド・クッション類は、お子さまの月齢に合わせ、下記の使用条件をお守りください。
- ・詳しい使い方は、17ページをご参照ください。

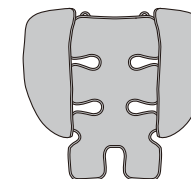
〈ホールディングパッドα〉

- ・新生児から首がすわるまで(月齢の目安: ~2、3カ月頃、参考体重2.5kg~7kg)までご使用頂けます。



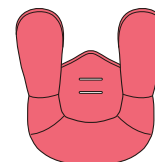
〈ベースシート〉

- ・必ずご使用ください。



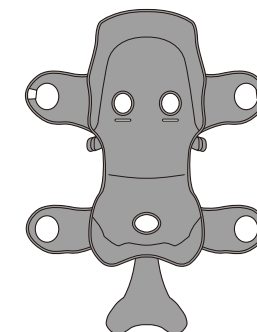
〈U字クッション〉

- ・新生児からひとり座りが出来る(月齢の目安:7カ月頃)までご使用頂けます。
- ・寝かせて使用する時のみ。



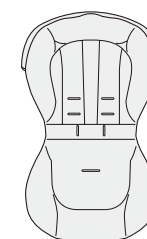
〈寝かせ替えクッション〉

- ・新生児から48カ月までは、クッションマットカバーとして使用できます。
- ・首がすわってからひとり座りが出来るまでは、寝かせ替えとして使用できます。(月齢の目安:2、3カ月頃~7カ月頃、参考体重7kg~9kg)



〈クッションマット〉

- ・必ずご使用ください。



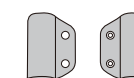
〈股ベルトカバー〉

- ・新生児から36カ月まで必ずご使用ください。



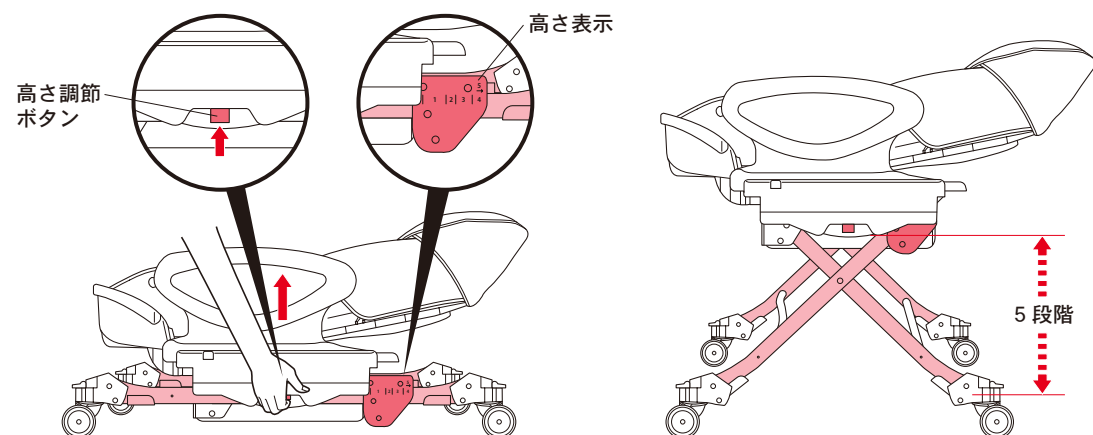
〈肩ベルトパッド〉

- ・新生児から座高46cm(月齢の目安:18カ月)まで必ずご使用ください。



高さ調節のしかた

- ・お部屋や利用するときの状態に合わせて、高さを5段階に調節できます。



- ① 本体を少し持ち上げ、左右の高さ調節ボタンを押し込み、本体の高さを調節する。
- ② 利用する高さにして、高さ調節ボタンから指を離す。

- ③ 固定されていることを確認する。
- ④ 左右の高さを確認する。
- ⑤ 左右の高さが違う場合は、もう一度やりなおす。

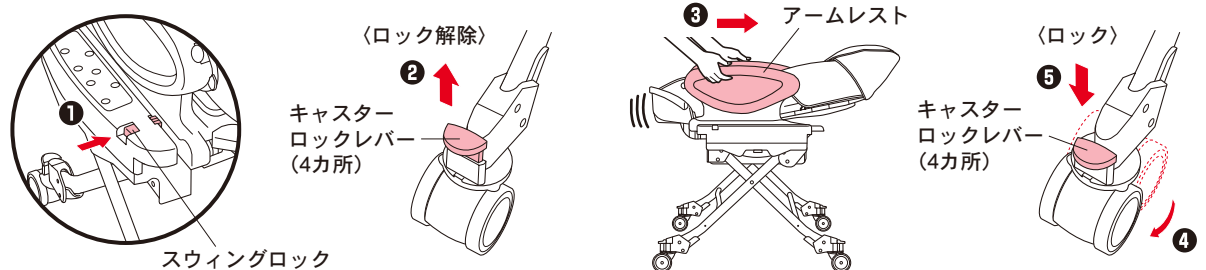


警告

- ・お子さまを乗せたままで高さ調節をしない。
- ・高さ調節をするときは本製品の脚などで手、指などを挟まないように注意する。

移動のしかた

- ・室内で向きを変えたり、移動するときにキャスターを使用します。移動しないときは、必ずキャスターをロックしてください。



- ① スウィングロックをロックする。(左右)
- ② キャスターロックレバーを上げ、ロックを解除する。(4カ所)

- ③ 両手でアームレスト部を持って移動する。
- ④ キャスターを外向きにする。
- ⑤ キャスターロックレバーを下げ、ロックする。(4カ所)



警告

- ・移動時は車輪、キャスターの回転部などで手、指などを挟まないように注意する。
- ・移動させるとき以外は、必ず4輪ともキャスターをロックする。
- ・本体を持ち上げて移動するときは、テーブルを持たない。テーブルが外れ、本体が落下するおそれがあります。



注意

- ・移動させるときに、キャスターをロックしたまま横すべりさせない。床面を傷つけるおそれがあります。

肩ベルトの高さ調節



警告

- ・お子さまの成長に合わせて肩ベルトの高さを調節する。

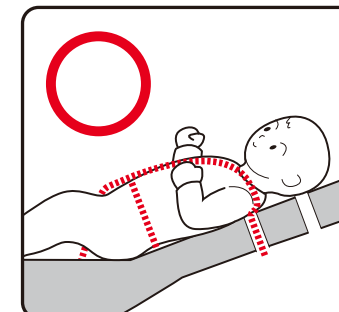
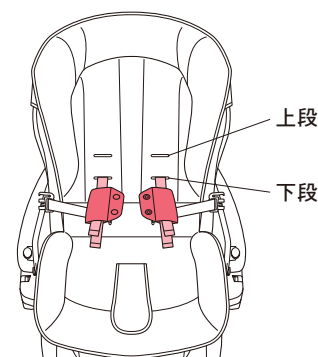
〈肩ベルト位置〉

- ・箱から取り出した状態では、下段にセットされています。

〈肩ベルトの目安〉

- ・肩の位置より下段に通す。

- ・肩ベルトの位置は以下の2段階に調節してください。



アドバイス

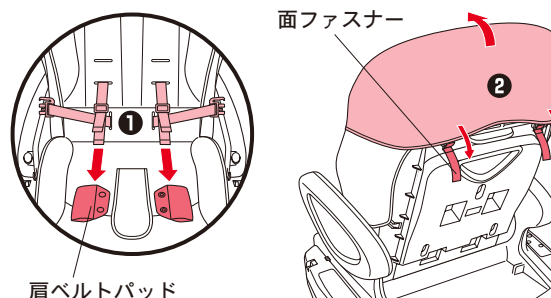
- ・肩ベルトは装着時に警告ラベルが表に来るようにして使用してください。
- ・肩ベルトがねじれていないか確認してください。

月齢の目安	肩ベルト通し穴位置
7カ月頃まで	下 段
7カ月頃から	上 段

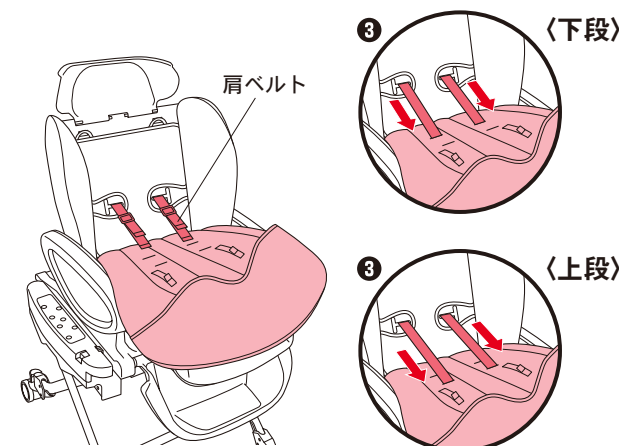
※上記表示は目安であり個人差があります。

- ・座高46cm (参考月齢18カ月) まで使用。以後は使用不可。(取り外す)

〈肩ベルトの高さ調節のしかた〉



- ① 股ベルトバックルから肩ベルト、腰ベルトを外し、肩ベルトパッドを外す。
- ② 背もたれ背面の面ファスナーを外し、クッションマットのヘッド部をめくり、背もたれ背面の面ファスナーを引き、折り返し部分を通し穴に合わせ、前面方向へ抜き取る。(P38、39参照)



〈下段を使用する時〉

- ③ 肩ベルトをシート穴(下段)に通す。

〈上段を使用する時〉

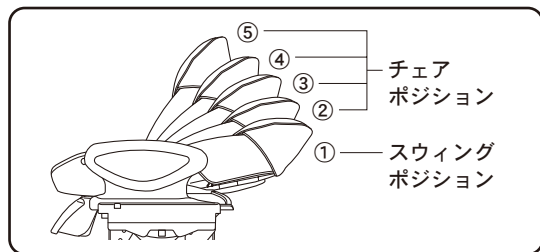
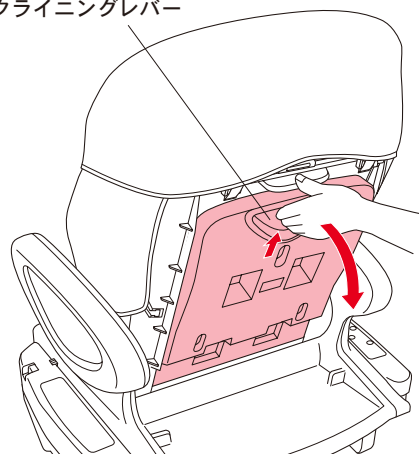
- ③ 肩ベルトをシート穴(上段)に通す。

- ④ 高さ調節後、面ファスナーをベースシートのループと背もたれに差し込み、クッションマットをかぶせ、面ファスナーをとめる。(P41、42参照)
- ⑤ 肩ベルトに肩ベルトパッドを取り付ける。

リクライニングの使い方

- ・リクライニングは5段階に調節できます。

リクライニングレバー



- ① リクライニングレバーを引き上げ、背もたれの角度を調節する。
- ② 利用する角度にして、リクライニングレバーから指を離す。
- ③ 背もたれ部分を上から軽く押し、背もたれがロックされていることを確認する。

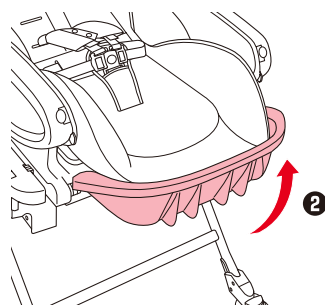
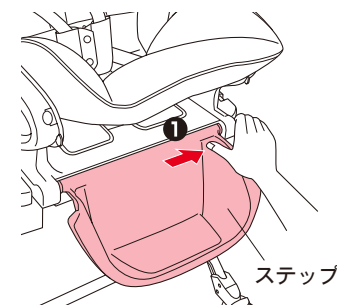


- ・リクライニング操作時は背もたれ、座面などで手、指などを挟まないように注意する。
- ・リクライニングの角度を変えると、肩ベルト、腰ベルトの長さが変わります。ベルトの長さを調節してください。

ステップの使い方

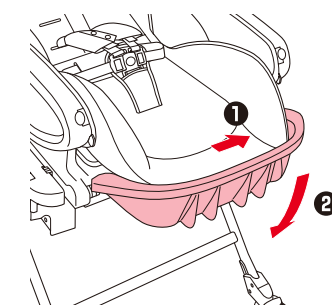
- ・背もたれを水平に近い角度にするときなど、座席の延長としてお使いください。

〈ステップを上げる場合〉



- ① ステップを矢印の方向にスライドさせる。
- ② スライドさせた状態で上げる。

〈ステップを下げる場合〉



- ① ステップを矢印の方向にスライドさせる。
- ② スライドさせた状態で下げる。



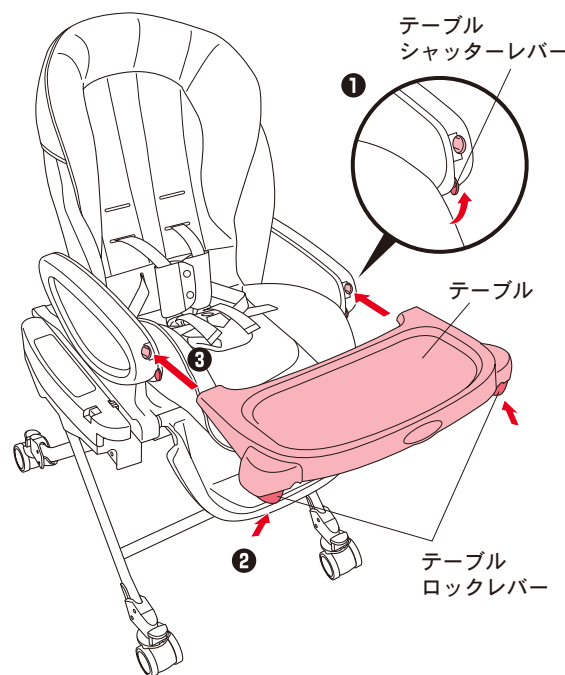
- ・ステップ操作時は可動部などで手、指などを挟まないように注意する。
- ・ステップに直接お子さまを乗せないこと。(耐荷重8kg)
- ・お子さま1人で乗り降りさせない。

テーブルの使い方



- ・テーブルでは、お子さまの抜け出しや転落を防ぐことはできません。必ずシートベルトを使用すること。
- ・テーブルを取り付けるときは、手、指などを挟まないように注意する。
- ・テーブルの上に乗せたり、たいたりしない。落下するおそれや破損の原因となります。

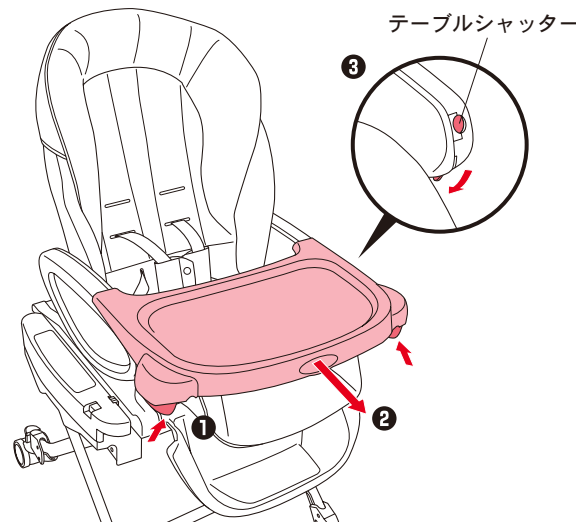
〈取り付け方〉



- ① テーブルシャッターレバーをスライドさせテーブルシャッターを開く。(左右)
- ② 本体テーブル取り付け穴にテーブルを合わせて差し込む。
- ③ テーブルを軽く前後に動かし、ロックされていることを確認する。

- ・テーブルの位置は前後に3段階の調節が可能です。テーブルロックレバーを握り(左右)、好みの位置に調節してください。調節後は、テーブルを前後に動かし、ロックされていることを確認する。

〈取り外し方〉



- ① テーブルロックレバーを握る。(左右)
- ② テーブルを引き抜く。
- ③ テーブルシャッターレバーをスライドさせテーブルシャッターを閉じる。(左右)

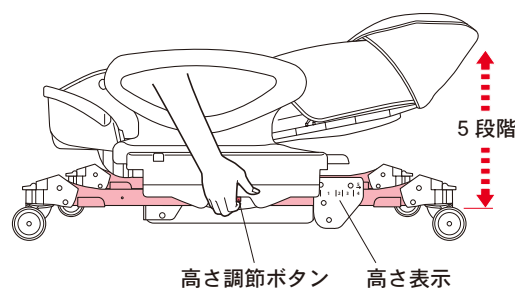


- ・テーブルを使用しないときは、テーブルシャッターを閉じる。お子さまが指を入れるとけがをするおそれがあります。

1 準備

〈高さを調節する〉

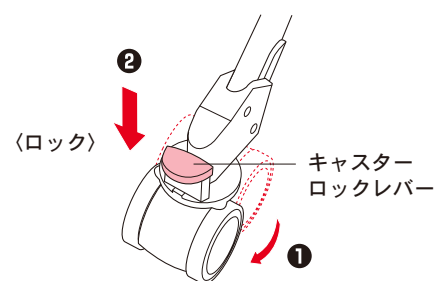
- ・本体を少し持ち上げるとスムーズに調節できます。



- ①本体を少し持ち上げ、左右の高さ調節ボタンを押し込み、本体の高さを調節する。
- ②利用する高さにして、高さ調節ボタンから指を離す。
- ③固定されていることを確認する。
- ④左右の高さを確認する。
- ⑤左右の高さが違う場合は、もう一度やりなおす。

〈キャスターをロックする〉

- ・キャスターをロックすると車輪もロックされます。



- ①キャスターを外向きにする。
- ②キャスターロックレバーを下げ、ロックする。(4カ所)



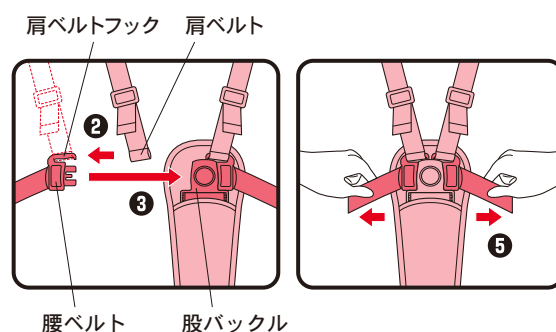
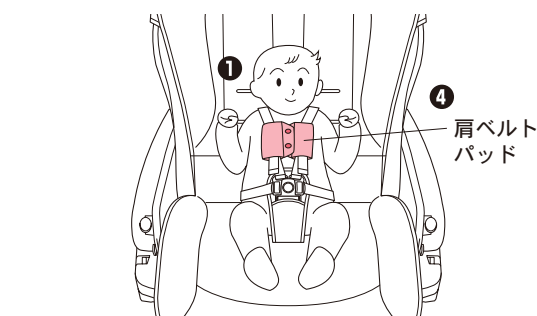
- ・お子さまを乗せたままで高さ調節をしない。
- ・高さ調節をするときは本製品の脚などで手、指などを挟まないように注意する。
- ・移動時は車輪、キャスターの回転部などで手、指などを挟まないように注意する。
- ・移動させるとき以外は、必ず4輪ともキャスターをロックする。

2 乗せ方

- ・ホールディングパッドα、U字クッションを
- ・寝かせ替えクッションを車体に装着した

車体に装着した状態での乗せ方については、P19を参照ください。
状態での乗せ方については、P23を参照ください。

〈お子さまを乗せてシートベルトを締める〉



- ①お子さまを乗せる。
 - ②肩ベルトを肩ベルトフックに差し込む。
 - ③腰ベルトを股バックルに差し込む。
 - ④肩ベルトパッドのフックをとめる。
 - ⑤左右の腰ベルトを引っ張って外れないことを確認する。
- ※腰ベルト、肩ベルト、股ベルトの長さは、お子さまの体格と姿勢に合わせて調節してください。(P16 参照)



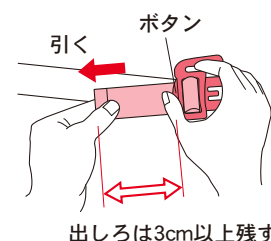
- ・肩ベルトは装着時に警告ラベルが表に来るようにして使用してください。
- ・肩ベルトがねじれていないか確認してください。



- ・シートベルトを締めた後は、左右の腰ベルトを引っ張って外れないことを確認する。締め方が不完全な場合、使用中に外れてお子さまが落ち、けがをするおそれがあります。
- ・肩ベルトは必ず腰ベルトに差し込んで使用し、フリーにさせないこと。肩ベルトがお子さまの首に巻き付くおそれがあります。
- ・シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。本体の転倒やお子さまが落ちるおそれがあります。

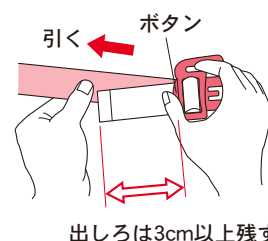
〈腰ベルトの調節〉

〈締める時〉



出ししろは3cm以上残す

〈緩める時〉

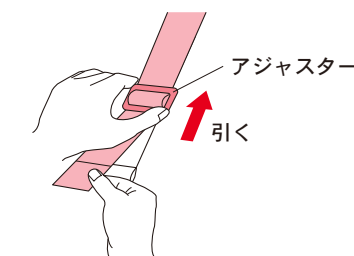


出ししろは3cm以上残す

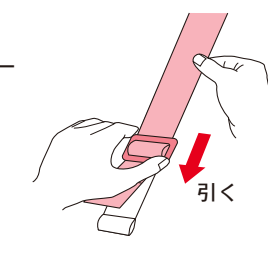
- ボタンを押しながらベルトを引く、長さを調節する。

〈肩ベルトの調節〉

〈締める時〉



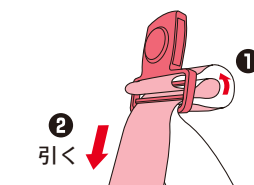
〈緩める時〉



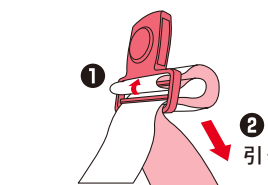
- アジャスターを引く、長さを調節する。

〈股ベルトの調節〉

〈締める時〉



〈緩める時〉



- ①ベルトを引き出す。
- ②ベルトを引き、長さを調節する。

- ・調節後、バックル裏に付いているフックと股ベルトカバーのフックがとまっていることを確認してください。(P42参照)

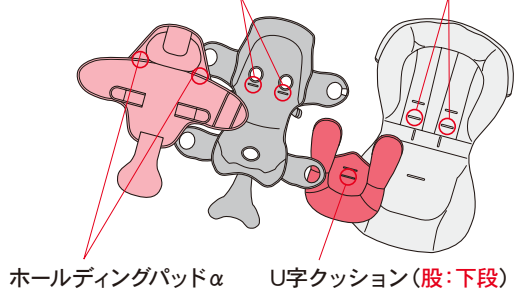
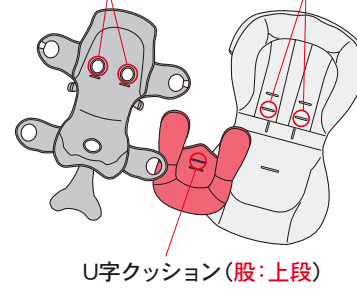
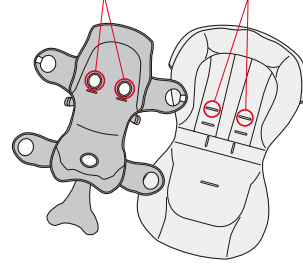


- ・腰ベルト、肩ベルト、股ベルトはお子さまの成長に合わせて調節すること。
- ・腰ベルト、肩ベルト、股ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。
- ・肩ベルトパッドは必ずフックをとめて使用する。
- ・腰ベルトの末端の出ししろ(＜＝＞部分)は必ず3cm以上残す。
- ・リクライニングの角度を調節するたびに、腰ベルト、肩ベルト、股ベルトの長さを調節する。

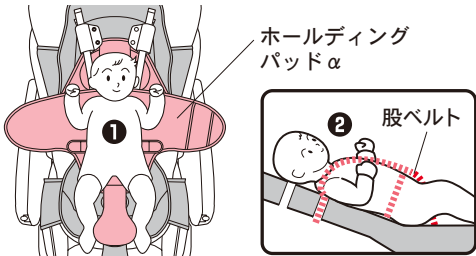
本体とパッド・クッション類の組み合わせ方

〈使用月齢期間〉

- ・寝かせ替えクッション、クッションマットには、それぞれ肩ベルト用の通し穴(上段・下段)があります。
- ・U字クッションには、股ベルト用の通し穴(上段・下段)があります。
- 組み合わせによって、3通りのサイズ調節ができます。

発育状態の目安	月齢の目安	肩ベルト・股ベルトを通す位置
新生児から 首がすわるまで (P19参照)	新生児～ 2、3カ月頃	寝かせ替えクッション(肩:下段) クッションマット(肩:下段)  ホールディングパッドα U字クッション(股:下段)
首がすわってから ひとり座りが出来るまで (P23参照)	2、3カ月頃～ 7カ月頃	寝かせ替えクッション(肩:上段) クッションマット(肩:下段)  U字クッション(股:上段)
ひとり座りが出来てから 約18kg以下まで	7カ月頃～ 48カ月	寝かせ替えクッション(肩:上段) クッションマット(肩:上段) 

〈お子さまを乗せる位置と肩ベルトの調節〉



- ①シートに装着されているホールディングパッドαの上にお子さまを乗せる。
- ②股ベルトの位置に合わせて、お子さまを乗せ、肩ベルトは肩より少し低い位置から出す。
※位置が低すぎる場合は肩ベルトを上段に変える。
長さが短い場合は肩ベルトを長く調節する。

寝かせ替えの手順

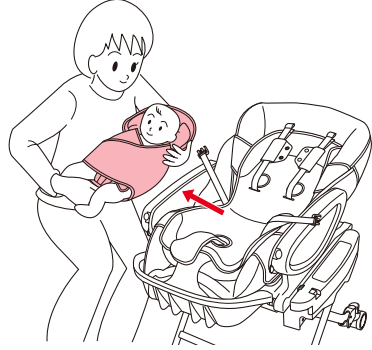
・新生児から首がすわるまで
〈月齢の目安: 新生児～2、3カ月頃〉
〈参考体重: 2.5kg～7kg〉

ホールディングパッドαで
ベッドまたはお布団に寝かせ替える場合
(P21参照)

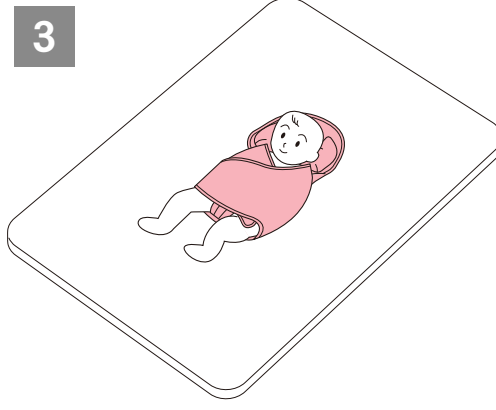
1



2



3



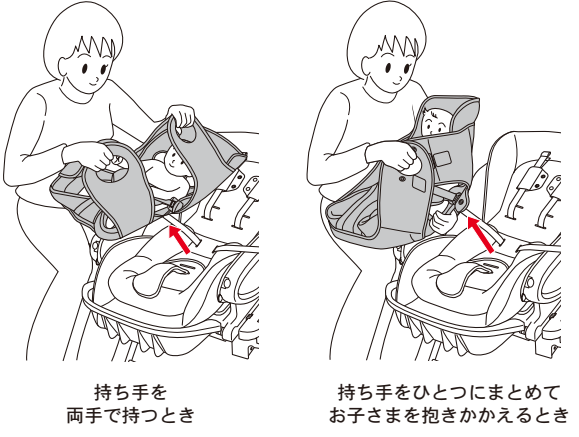
・首がすわってからひとり座りができるまで
〈月齢の目安: 2、3カ月頃～7カ月頃〉
〈参考体重: 7kg～9kg〉

寝かせ替えクッションで
ベッドまたはお布団に寝かせ替える場合
(P24参照)

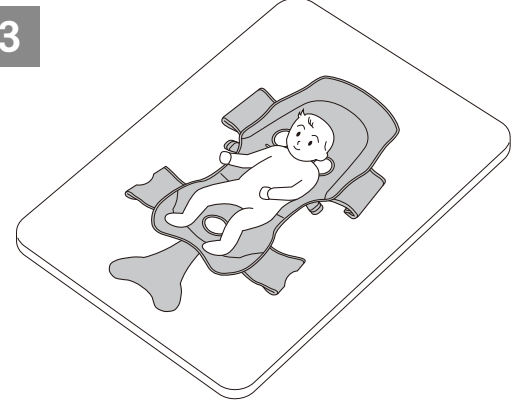
1



2



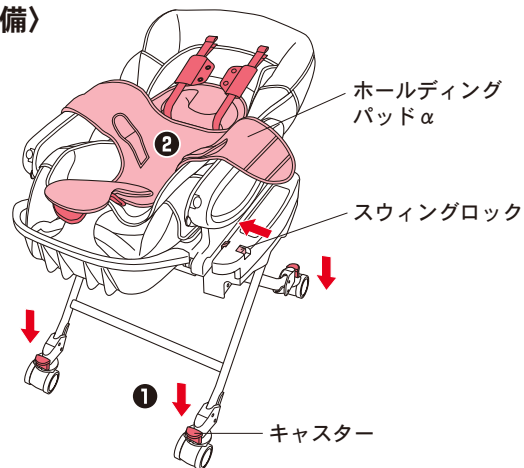
3



ホールディングパッドαの使い方

〈新生児～首がすわるまで〉月齢の目安：新生児～2、3カ月頃、参考体重2.5kg～7kg

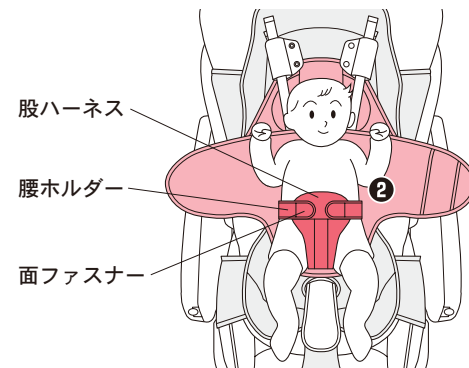
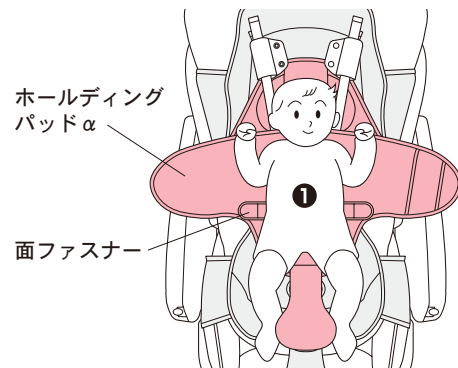
〈準備〉



・テーブルを外してから行ってください。

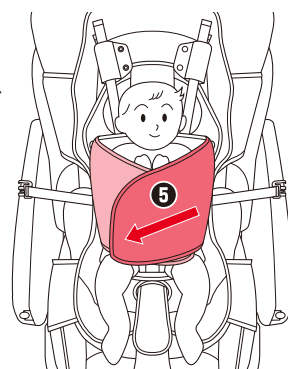
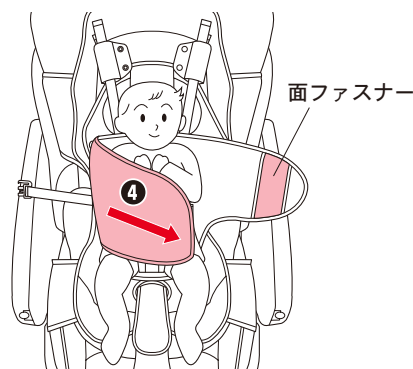
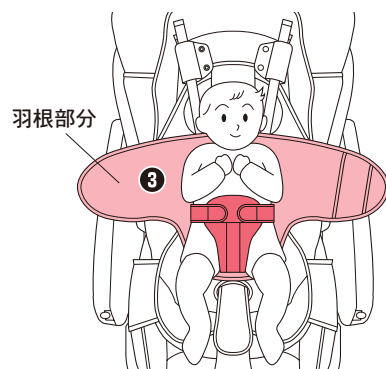
- ① スウィングロック（左右）とキャスター（前後左右）がロックされていることを確認する。
- ② 股ベルト、腰ベルト、肩ベルトのバックルを外し、ホールディングパッドαの重なり部の面ファスナーを外し、外側に広げる。

〈お子さまを乗せるとき〉



- ① ホールディングパッドαの頭部の凸部が、お子さまの首の後ろに来るようにお子さまを乗せる。

- ② 股ハーネスをお子さまのお腹にあてて左右の腰ホルダーの面ファスナーをとめる。



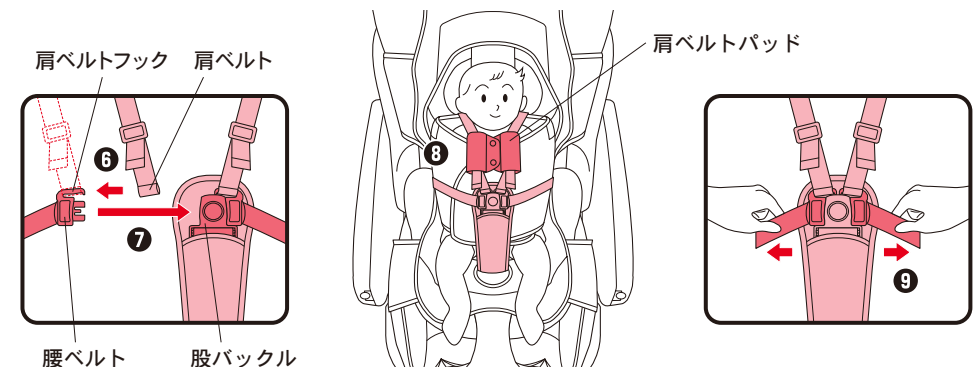
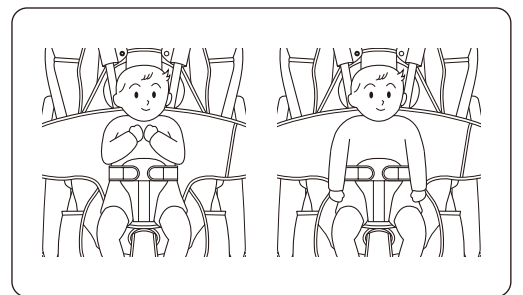
- ③ お子さまの腕を胸の位置にする。

- ④ 左側からお子さまの腕を包み込み、

- ⑤ 右側の面ファスナーをとめる。



- ・お子さまの手の位置は、右図のように胸の中央にするか、まっすぐ伸ばしてあげても構いません。
- ・月齢の小さいお子さまは、自分の意志で手の動きをコントロールしておらず、反射のような自分の動作に驚いて泣くことがあります。お子さまはしっかりと少し強めにぐんであげ方が効果的です。
- ・少し強めかなと思うくらいにしっかりと巻き込んであげてください。月齢が高くなると手を出したがり、口元に持っていきたがる場合がありますが、その場合は自然な手の位置でも構いません。ただし、腕は出さずに必ず、重ね部で内側にくるんであげてください。



- ⑥ 肩ベルトを肩ベルトフックに差し込む。
- ⑦ 腰ベルトを股バックルに差し込む。
- ⑧ 肩ベルトパッドのホックをとめる。

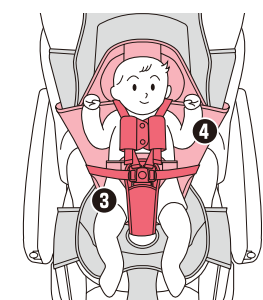
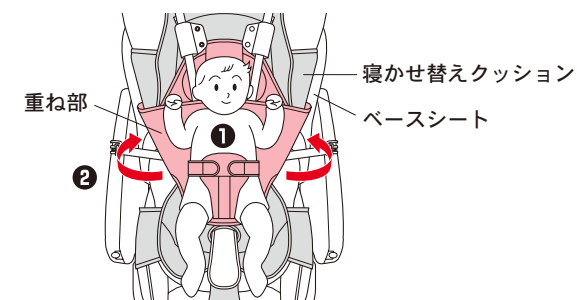
- ⑨ 左右の腰ベルトを引っ張って外れないことを確認する。
※腰ベルト、肩ベルト、股ベルトの長さはお子さまの体格と姿勢に合わせて調節してください。(P16 参照)



- ・巻き付ける際、お子さまの口に左右の重ね部がかぶらないように注意する。お子さまが窒息するおそれがあります。
- ・お子さまの状態や体調に注意しながら使用する。
お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

〈ホールディングしない場合〉

- ・ホールディングパッドαはオールシーズン用ですが、気温やお子さまの状況に応じて使い分けて、ご使用ください。

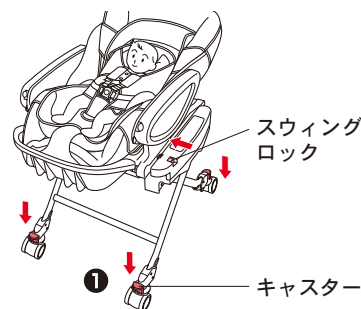


- ① P19〈お子さまを乗せるとき〉の①②の手順を行う。
- ② 左右の重ね部をベースシートと寝かせ替えクッションの間に入れる。

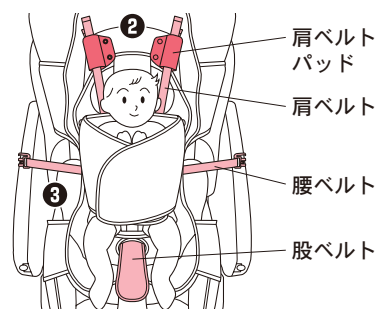
- ③ 肩ベルト、腰ベルト、股ベルトをとめる。
- ④ 肩ベルトパッドのホックをとめる。

ホールディングパッドαの使い方

〈ホールディングパッドαでベッドまたはお布団に寝かせ替えするとき〉

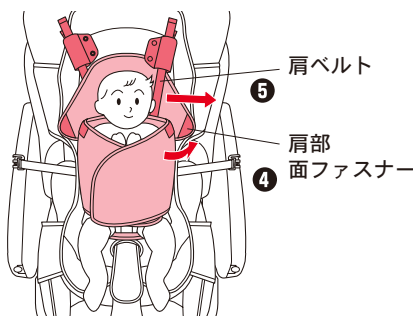


- ①スウィングロック（左右）とキャスター（前後左右）がロックされていることを確認する。

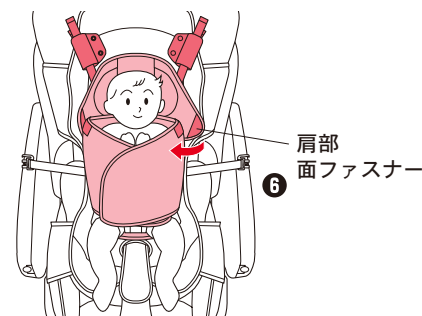


- ②肩ベルトパッドのホックを外す。
③股バックルのボタンを押して、バックルから腰ベルト、肩ベルトを外す。

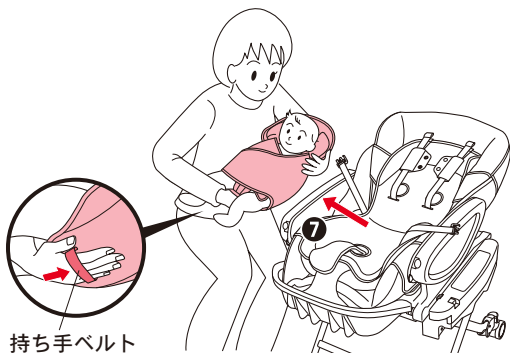
警告 お子さまを寝かせ替える際は、必ず製品本体のスウィングロックとキャスターをロックする。お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。



- ④ホールディングパッドαの肩部面ファスナー（左右）を外す。
⑤肩ベルトを横方向に抜く。



- ⑥ホールディングパッドαの肩部面ファスナー（左右）をとめる。

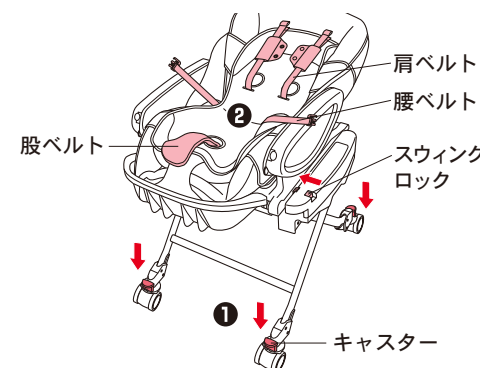


- ⑦ホールディングパッドαの股部の持ち手ベルトに片方の手を差し込み、もう一方の手でお子さまの頭部と首部を支えながらお子さまを本体から持ち上げ、ベッドまたはお布団に寝かせ替える。

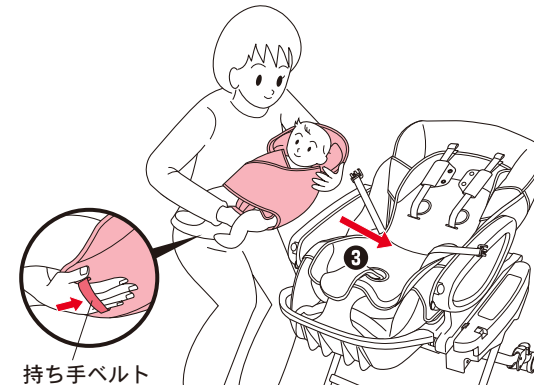
警告

・ホールディングパッドαで寝かせ替える際は、必ず股部の持ち手ベルトに手を入れた状態でお子さまを支え、もう一方の手でお子さまを抱きかかえるようにして、ベッドまたは布団に寝かせ替える。お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。
・寝かせ替え時にお子さまを抱き上げる際はホールディングパッドαの股ハーネスおよび左右の重ね部を必ずとめてから行う。お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。
・ホールディングパッドαと寝かせ替えクッションで寝かせ替える時は、お子さまを抱き上げた状態で走ったり、飛び跳ねたり、前かがみになるなど、無理な姿勢をとらない。お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。
・ホールディングパッドαと寝かせ替えクッションは本製品、またはベッドや布団以外の製品と併用しない。お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。
・ホールディングパッドαと寝かせ替えクッションを併用した状態で使用しない。お子さまが落下したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

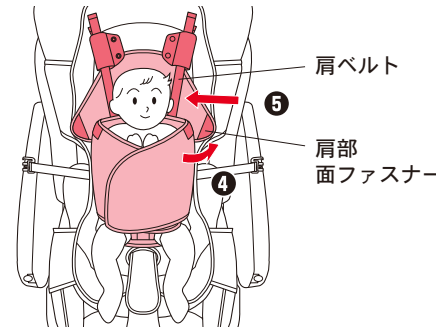
〈ホールディングパッドαでお子さまを乗せるとき〉



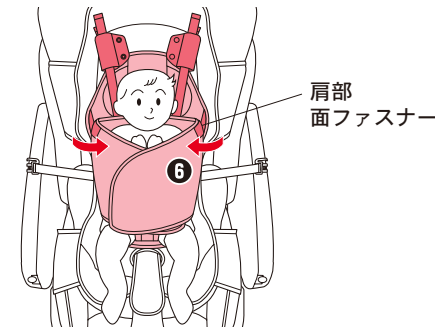
- ①スウィングロック（左右）とキャスター（前後左右）がロックされていることを確認する。
②肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを外側にひろげる。



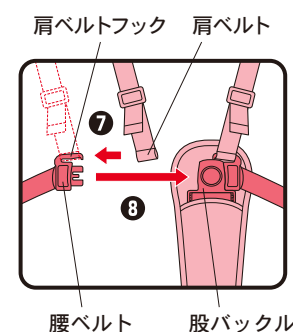
- ③ホールディングパッドαの股部の持ち手ベルトに片方の手を差し込み、もう一方の手でお子さまの頭部と首部を支えながらお子さまを抱き上げ、本体に乗せる。



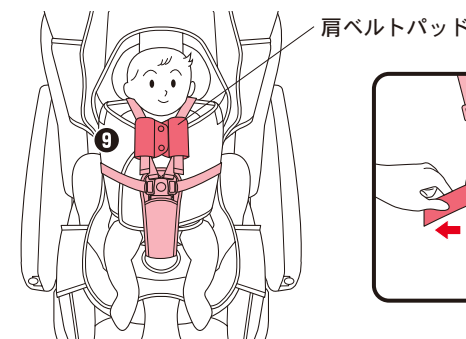
- ④ホールディングパッドαの肩部面ファスナー（左右）を外す。
⑤ホールディングパッドα肩部のスリットに肩ベルトを入れ、お子さまの肩位置に合わせる。



- ⑥ホールディングパッドαの肩部面ファスナー（左右）をとめる。



- ⑦肩ベルトを肩ベルトフックに差し込む。
⑧腰ベルトを股バックルに差し込む。
⑨肩ベルトパッドのホックをとめる。



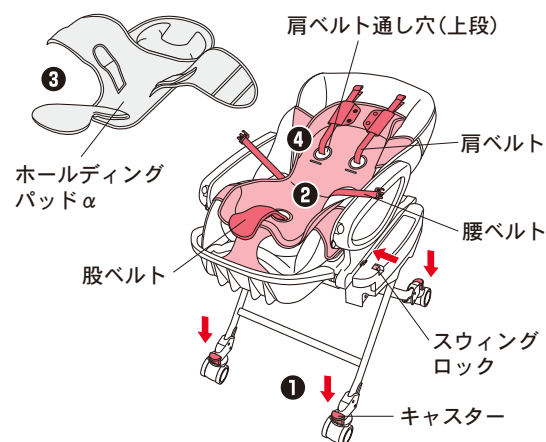
- ⑩左右の腰ベルトを引っ張って外れないことを確認する。
※腰ベルト、肩ベルト、股ベルトの長さはお子さまの体格と姿勢に合わせて調節してください。(P16 参照)

寝かせ替えクッションの使い方

〈首がすわってからひとり座りができるまで〉寝かせ替えとして使用できます。
月齢の目安：2、3カ月頃～7カ月頃、参考体重7kg～9kg

〈新生児から48カ月まで〉クッションマットカバーとして使用できます。参考体重2.5kg～18kg

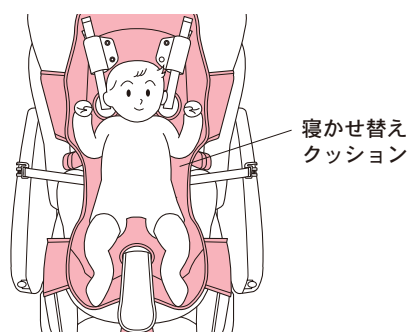
〈準備〉



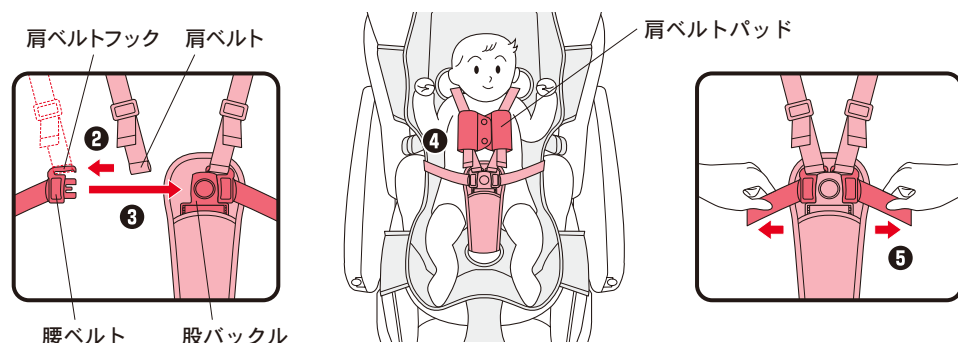
・テーブルを外してから行ってください。

- ①スウィングロック（左右）とキャスター（前後左右）がロックされていることを確認する。
- ②股ベルト、腰ベルト、肩ベルトのバックルを外す。
- ③ホールディングパッドαを取り外す。
- ④肩ベルトを寝かせ替えクッションの肩ベルト通し穴（上段）に通す。（肩ベルトの調節はP17参照）

〈お子さまを乗せるとき〉

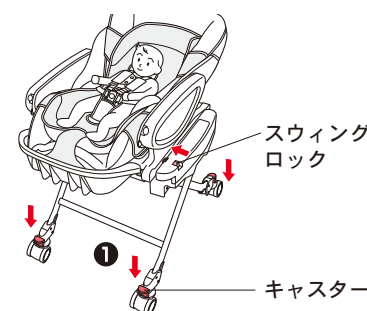


- ①寝かせ替えクッションの上にお子さまを乗せる。



- ②肩ベルトを肩ベルトフックに差し込む。
- ③腰ベルトを股バックルに差し込む。
- ④肩ベルトパッドのホックをとめる。
- ⑤左右の腰ベルトを引っ張って外れないことを確認する。
※腰ベルト、肩ベルト、股ベルトの長さはお子さまの体格と姿勢に合わせて調節してください。（P16 参照）

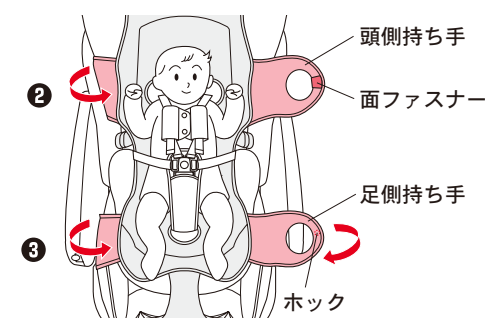
〈寝かせ替えクッションでベッドまたはお布団に寝かせ替えするとき〉



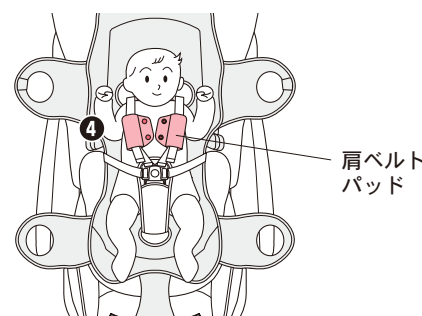
- ①スウィングロック（左右）とキャスター（前後左右）がロックされていることを確認する。



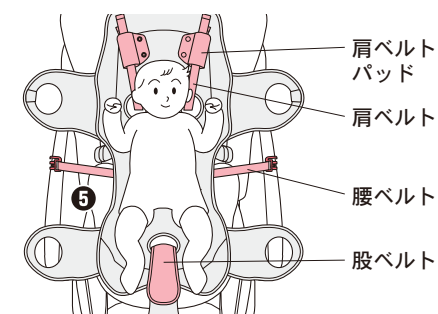
・お子さまを寝かせ替える際は、必ず製品本体のスウィングロックとキャスターをロックする。
お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。



- ②寝かせ替えクッションの頭側の左右の持ち手の面ファスナーをクッションマットから外す。
- ③寝かせ替えクッションの足側の左右の持ち手のホックをクッションマットから外す。



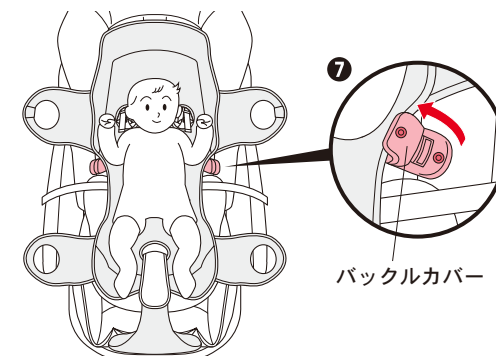
- ④肩ベルトパッドのホックを外す。



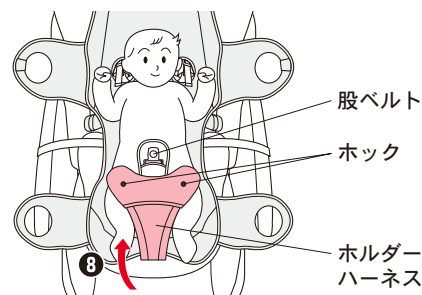
- ⑤股バックルのボタンを押して、バックルから腰ベルト、肩ベルトを外し、肩ベルトを肩ベルトフックから外す。



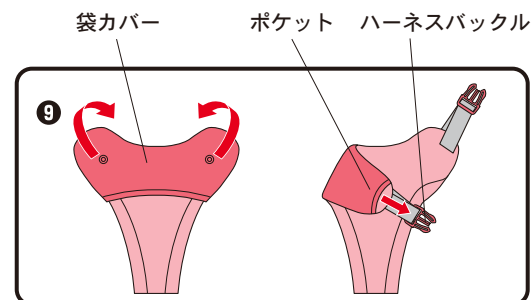
- ⑥左右の肩ベルトのアジャスターを寝かせ替えクッションの肩ベルトホールに入れ込む。



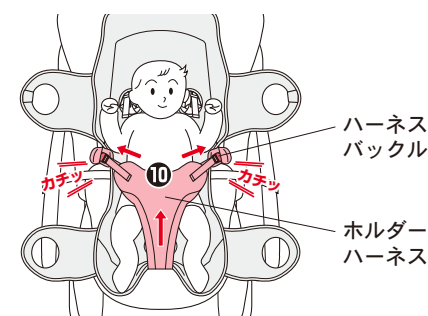
- ⑦左右のバックルカバーのホックを外す。



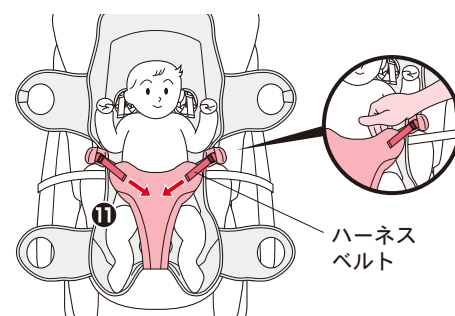
⑧ 股ベルトをお子さまのお腹の上にあて、寝かせ替えクッションのホルダーハーネスのホックをクッションマットから外す。



⑨ ホルダーハーネスの袋カバーを裏返し、左右のポケットからハーネスバックルを取り出す。



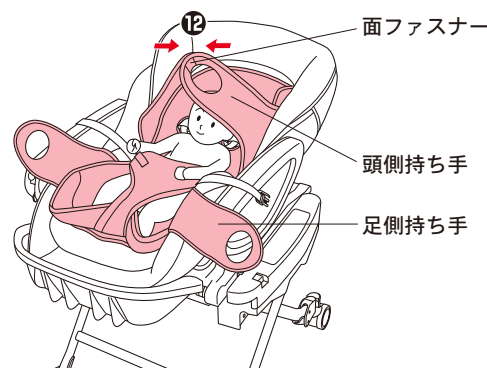
⑩ ホルダーハーネスをお子さまのお腹の上にあて、左右のハーネスバックルを「カチッ」と音がするまで差し込む。その際、お子さまの両腕がホルダーハーネスの上になっていることを確認する。



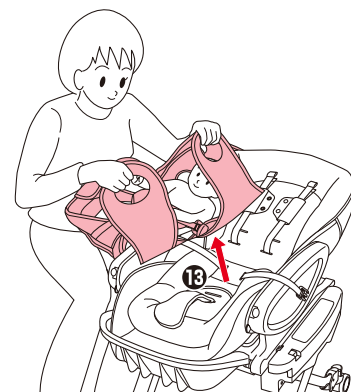
⑪ ハーネスベルトをお子さまの体格に合わせ調節する。

アドバイス ・ハーネスベルトの長さは、お子さまとの間に大人の指が4本入る程度が適当です。

〈持ち手を両手で持つとき〉

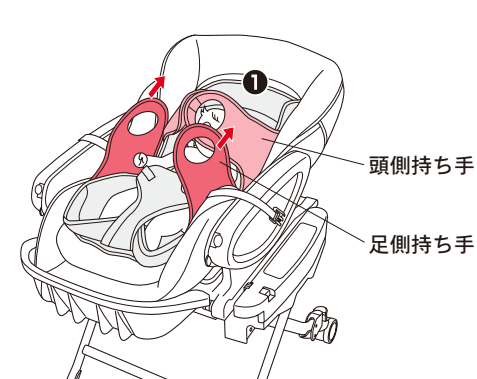


⑫ 寝かせ替えクッションの頭側の持ち手の左右の面ファスナーをとめる。



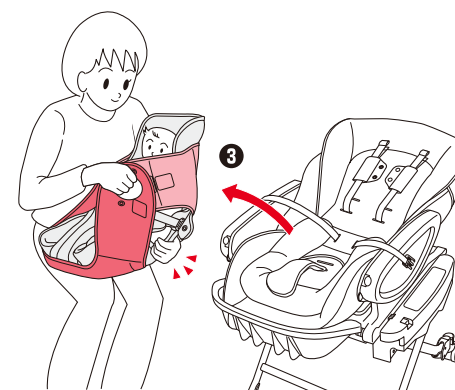
⑬ 頭側、足側の持ち手を両手で握り、お子さまを持ち上げベッドまたはお布団に寝かせ替える。
・お子さまをベッドまたはお布団に寝かせ替えてからは、P27を参照してください。

〈持ち手をひとつにまとめてお子さまを抱きかかえるとき〉



① 足側の持ち手を頭側の持ち手に合わせる。

② 頭側、足側の持ち手を片手で持つ。



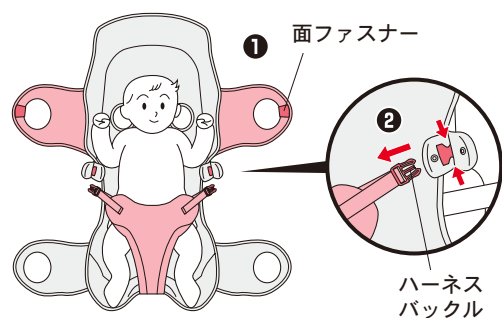
③ お子さまを持ち上げ、もう片方の手で支え、ベッドまたはお布団に寝かせ替える。
・お子さまをベッドまたはお布団に寝かせ替えてからは、P27を参照してください。

警告

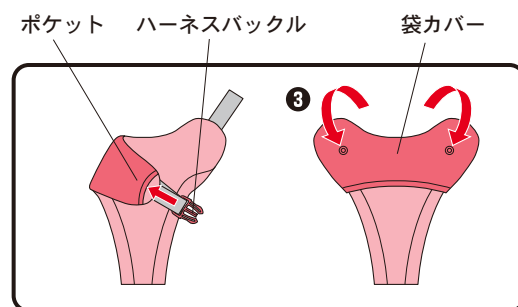
- ・お子さまを寝かせ替える際は、必ず製品本体のスウィングロックとキャスターをロックする。お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・寝かせ替えクッションのホルダーハーネスのバックルを外した状態で、お子さまを寝かせ替えない。お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・寝かせ替え時に寝かせ替えクッションでお子さまを持ち上げる際は、お子さまの頭が下がったり、お腹を圧迫するような姿勢で移動しない。お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・ホールディングパッドαと寝かせ替えクッションは室外で使用しない。お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・お子さまを揺らしてあやすなど、他の目的で使用したり、お子さまの遊び道具として使用しない。お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・ホールディングパッドαと寝かせ替えクッションを併用した状態で使用しない。お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・階段では使用しない。お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・ホールディングパッドαと寝かせ替えクッションは、お子さまを抱き上げた状態で走ったり、飛び跳ねたり、前かがみになるなど、無理な姿勢をとらない。お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・お子さまを寝かせ替える際は、周辺の物や段差など足もとに注意する。お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・寝かせ替えをする際は、持ち手を離さない。お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

寝かせ替えクッションの使い方

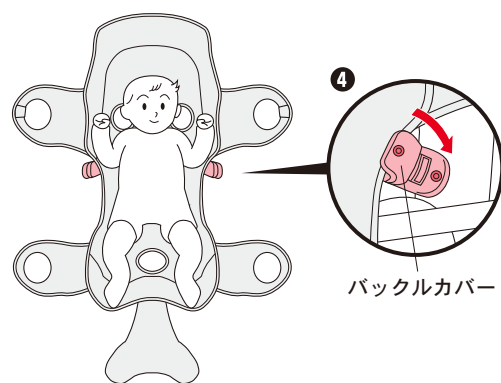
〈お子さまをベッドまたはお布団に寝かせ替えてから〉



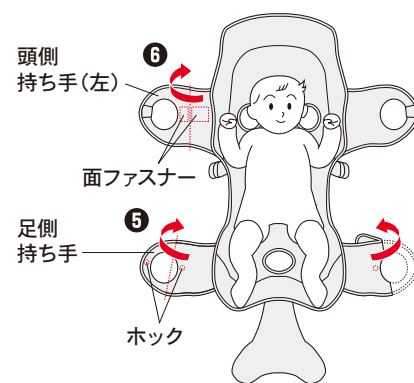
- ① 頭側の持ち手の左右の面ファスナーを外す。
- ② 左右のハーネスバックルを外す。



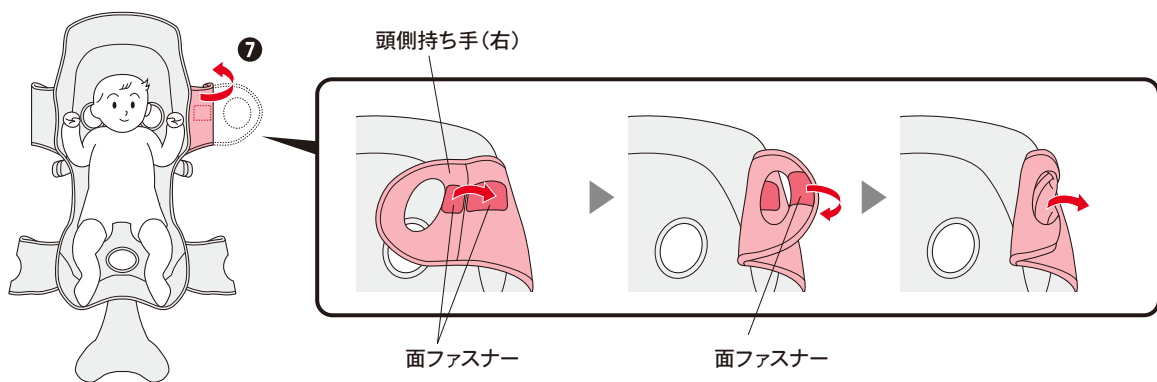
- ③ 左右のハーネスバックルをホルダーハーネスのポケットに収納し、袋カバーをかぶせる。



- ④ 左右のバックルカバーのホックをとめる。



- ⑤ 足側の左右の持ち手を裏側に折り返し、ホックをとめる。
- ⑥ 頭側の左の持ち手を裏側に折り返し、面ファスナーをとめる。



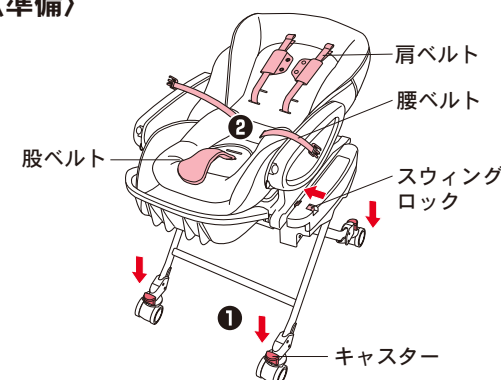
- ⑦ 頭側の右の持ち手を裏側に折り返し、面ファスナーをとめ、さらに持ち手の先端を裏側に折り返し、面ファスナーをとめる。



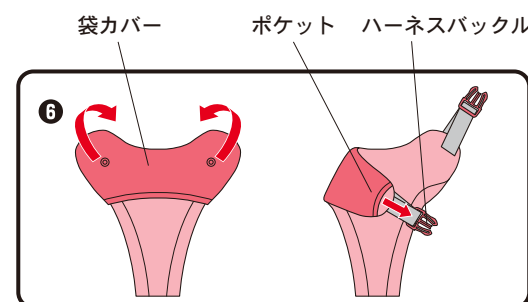
・頭側、足側の持ち手の面ファスナー、ホックを必ずとめる。お子さまがけがをするおそれがあります。

〈寝かせ替えクッションでお子さまを乗せるとき〉

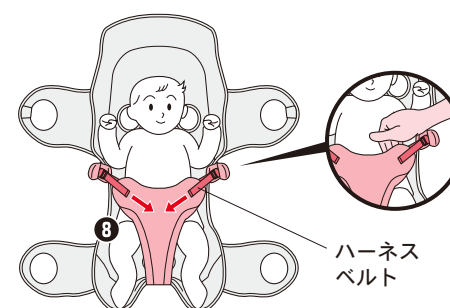
〈準備〉



- ① スウィングロック（左右）とキャスター（前後左右）がロックされていることを確認する。
- ② 肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを外側にひろげる。



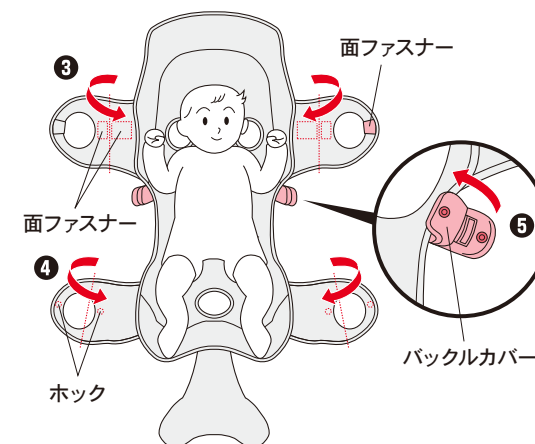
- ⑥ ホルダーハーネスの袋カバーを裏方向にめくり、ポケットから左右のハーネスバックルを取り出す。



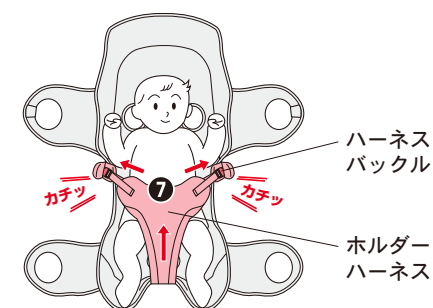
- ⑧ ハーネスベルトをお子さまの体格に合わせ調節する。



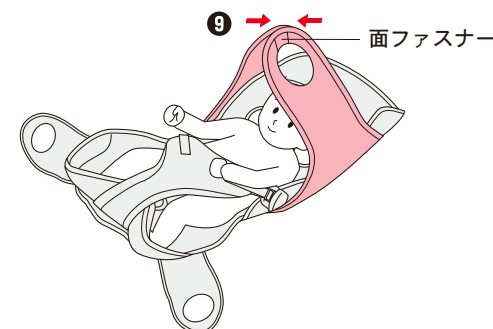
・ハーネスベルトの長さは、お子さまとの間に大人の指が4本入る程度が適当です。



- ③ 頭側持ち手の左右の面ファスナーを外す。
- ④ 足側持ち手の左右のホックを外す。
- ⑤ 左右のバックルカバーのホックを外す。

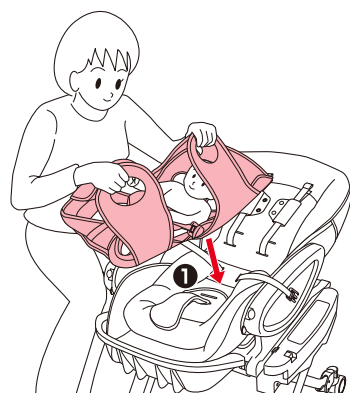


- ⑦ ホルダーハーネスをお子さまのお腹の上にあて、左右のハーネスバックルを「カチッ」と音がするまで差し込む。その際、お子さまの両腕がホルダーハーネスの上になっていることを確認する。



- ⑨ 頭側の持ち手の左右の面ファスナーをとめる。

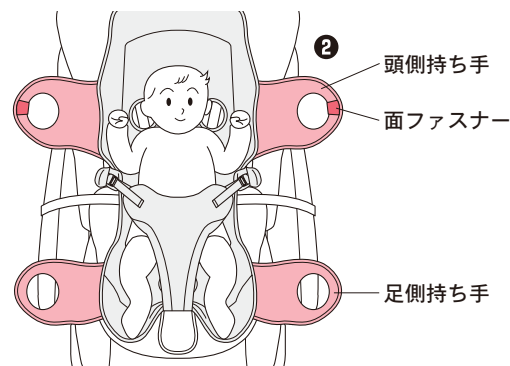
〈お子さまを乗せるとき〉



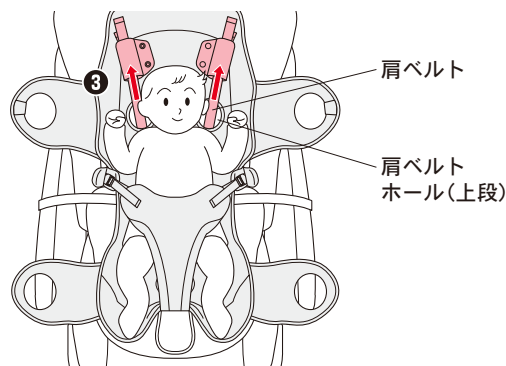
- ① 頭側と足側の持ち手を両手で握り、お子さまを持ち上げ、本体に乗せる。



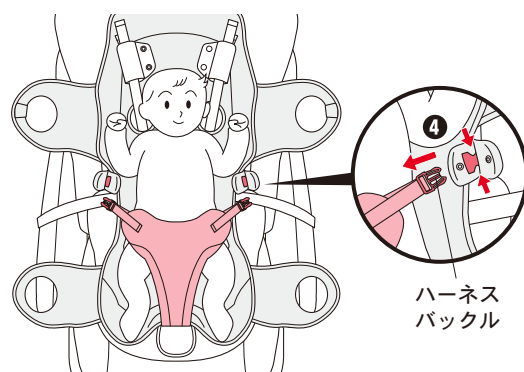
・寝かせ替えクッションのハーネスバックルを外した状態で、お子さまを抱き上げない。
お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。



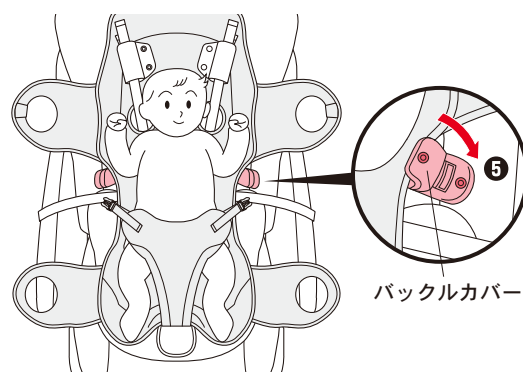
- ② 頭側の持ち手の面ファスナーを外し、頭側、足側の持ち手をひろげる。



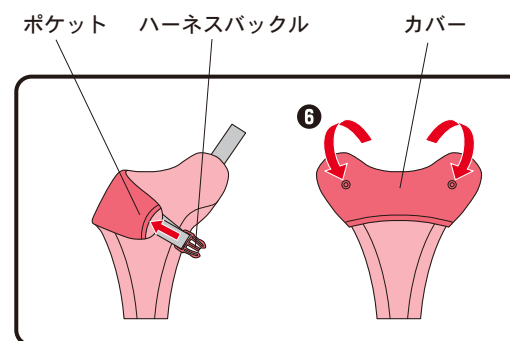
- ③ 肩ベルトを寝かせ替えクッションの肩ベルトホール(上段)に通す。



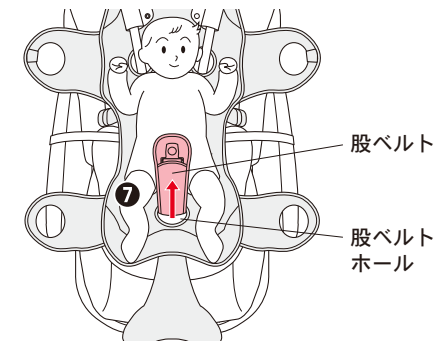
- ④ 左右のハーネスバックルを外す。



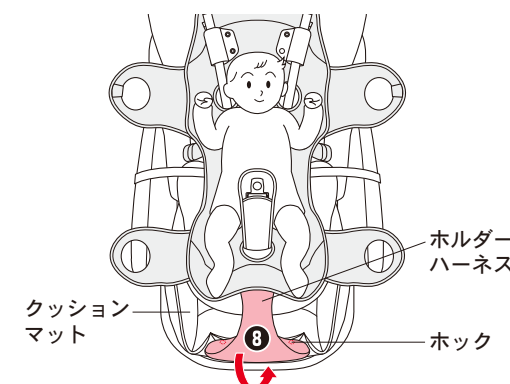
- ⑤ 左右のバックルカバーのホックをとめる。



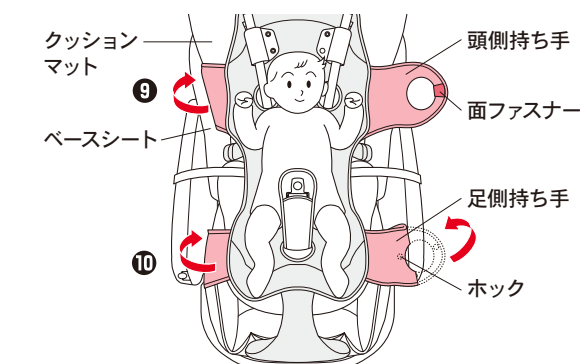
- ⑥ ホルダーハーネスのポケットに左右のハーネスバックルを収納し、カバーをかぶせる。



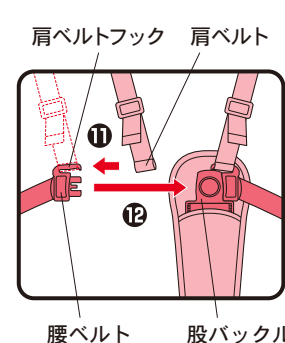
- ⑦ 股ベルトを寝かせ替えクッションの股ベルトホールに通す。



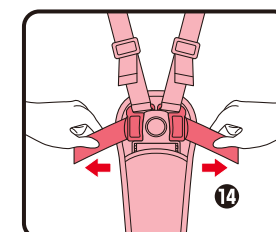
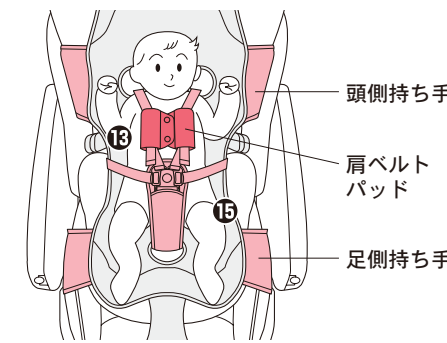
- ⑧ ホルダーハーネスをクッションマットの裏側に折り返し、ホックをとめる。



- ⑨ 頭側の左右の持ち手をベースシートとクッションマットの間に、面ファスナーをとめる。
⑩ 足側の左右の持ち手をベースシートとクッションマットの間に、ホックをとめる。



- ⑪ 肩ベルトを肩ベルトフックに差し込む。
⑫ 腰ベルトを股バックルに差し込む。
⑬ 肩ベルトパッドのホックをとめる。

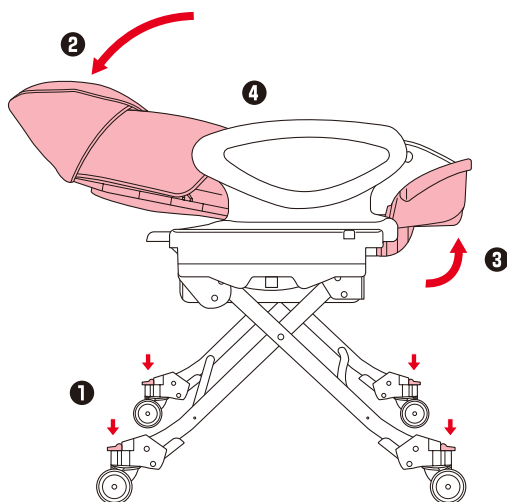


- ⑭ 左右の腰ベルトを引っ張って外れないことを確認する。
※腰ベルト、肩ベルト、股ベルトの長さはお子さまの体格と姿勢に合わせて調節してください。(P16 参照)
⑮ 拘束ベルトが正しく装着されていること、頭側、足側の持ち手が正しく収納されていることを確認する。

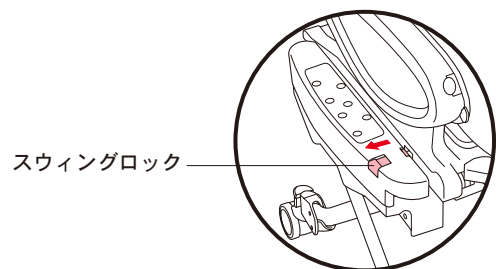


- ・傾斜や段差のあるところで使用しない。
- ・スウィングポジション以外ではスウィングさせない。
- ・スウィングさせる時以外は、スウィングロックを解除しない。
- ・手動スウィング時は、前後に行き当たるまでスウィングさせない。前後に行き当たるとお子さまに衝撃が加わるおそれがあります。
- ・スウィング中は本体などで手、指、衣類などを挟まないように注意する。

〈手動スウィング／電動スウィング共通の操作〉

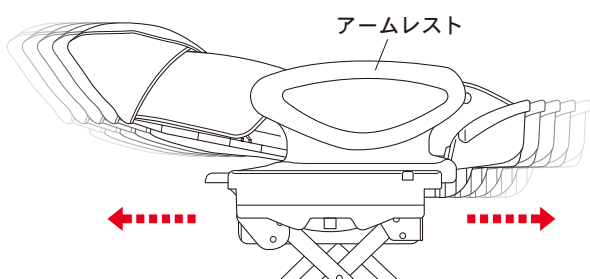


- ① キャスターを4カ所ともロックする。(P15参照)
- ② 背もたれを一番寝かせた角度(スウィングポジション)にする。(P13参照)
- ③ ステップを上げる。(P13参照)
- ④ お子さまを乗せ、シートベルトを正しく装着する。(P15参照)



- ⑤ スウィングロックを解除する。(左右)

〈手動スウィングを使用する場合〉



- ⑥ 手でゆっくり押し、前後ともに行き当たらない範囲でスウィングさせる。



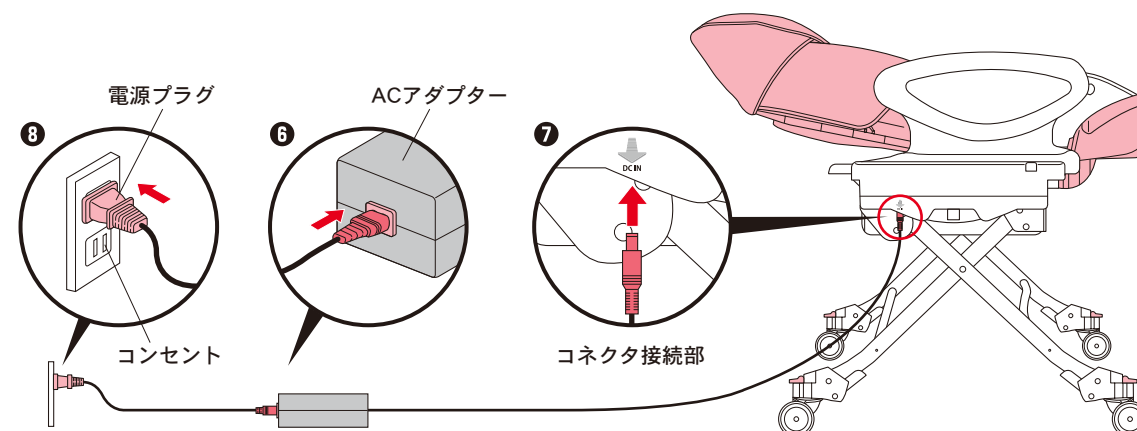
- ・アームレストを持ってスウィングすることをおすすめします。

〈電動スウィングを使用する場合〉

- ・電動スウィングの耐荷重は衣類を含めて総荷重8kg以下です。



- ・傾斜や段差のあるところで使用しない。
- ・次のような場所では使用しない。
浴室など湿気の多い場所、風雨にさらされる場所、ほこりの多い場所、強い磁気や振動の発生する場所、多量の油分が飛散する場所。
- ・お子さまが電源コードをなめたり、引っ張ったりしないよう注意する。また使用しない時は電源コードをお子さまの手の届かないところに保管する。
- ・スウィングポジション以外でスウィングさせない。
- ・お子さまの様子がおかしいと感じたら、すぐにスウィングを停止させる。
- ・スウィングさせる時以外は、スウィングロックを解除しない。
- ・スウィング中は本体などで手、指、衣類などを挟まないように注意する。



手順①～⑤は、P31〈手動スウィング／電動スウィング共通の操作〉をご参照ください。

- ⑥ 電源コードをACアダプターに差し込む。
 - ⑦ コネクタを本体に差し込む。
 - ⑧ 電源プラグをコンセントに差し込む。
- ・電動スウィングの操作パネルの説明は、P33「操作パネルの使い方」をご参照ください。
 - ・メロディ機能を併用する時は、P35「メロディ機能の使い方」をご参照ください。



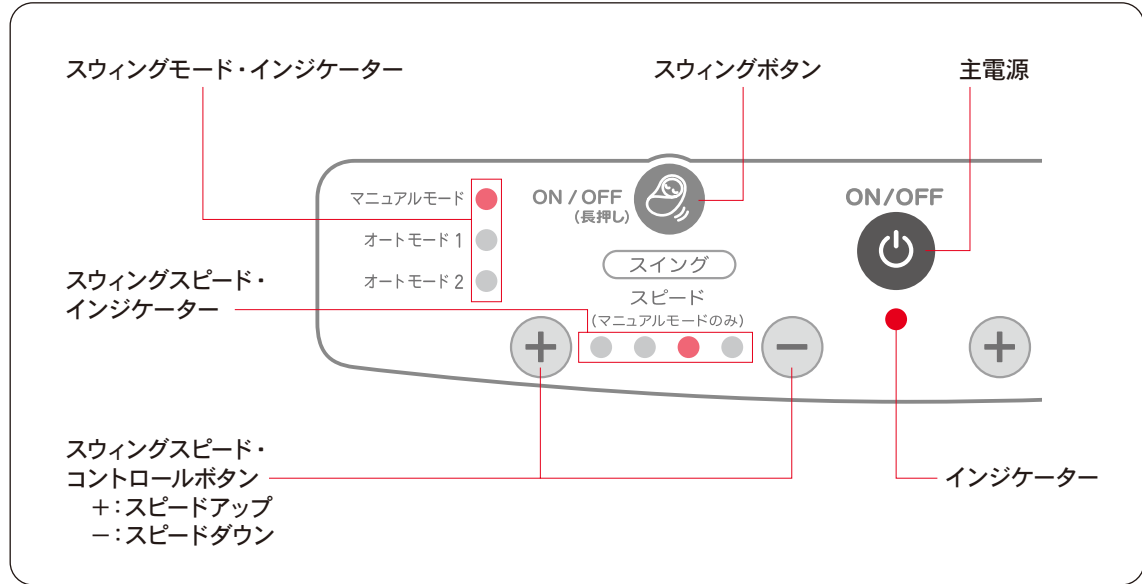
- ・スウィングが強すぎると、すべりやすい床などでは本体が前後に動くことがあります。その場合には、スウィング調節ボタンをマイナス方向に調節してください。
- ・じゅうたんやたたみなどやわらかい床面上で電動スウィングを使用すると、車体が不安定となり、正常に作動しないおそれがあります。フローリングなどのかたい床面上で使用してください。



- ・衣服などを含めた重量が8kg以上のお子さまで使用しない。故障の原因になります。
- ・電動スウィングを使用する際は、必ずお子さまを乗せてからスウィングボタンを押す。お子さまの体重をセンサーが正確に感知できず、正常にスウィングしないおそれがあります。

操作パネルの使い方

- ・電動スウィングを使用する際は、P32「電動スウィングを使用する場合」をよくお読みの上、操作してください。
- ・揺れ始めの約5秒は上に乗っているお子さまの体重をセンサーが感知しますので、小さな揺れから始まります。また、この揺れ始めの時間はスウィングスピードの変更ができません。



〈マニュアルモードの使い方〉

- ①主電源 ① を押し、ONにします。スイッチの下のインジケータが点灯します。
- ②スウィングボタン ② を押します。
- ③スウィングモード・インジケータの「マニュアルモード」が点灯し、スウィングを開始します。

・もし、車体が斜めになっている、スウィング開始時に何かが引っかかり正常にスウィングができない場合、スウィングモード・インジケータが「点滅」し、「エラー」を表示します。

〈エラーが出る例〉	〈エラーが出た場合〉
・車体が水平なところに置かれていない。	・段差などのない水平な床で使用してください。
・スウィングロックが解除されていない。	・スウィングロックを解除してください。
・何か異物が挟まるなどスウィング出来ない状態になっている。	・何か異物が挟まっていないか確認してください。
・お子さまと衣服類を合わせて8kg以上の荷重が上に乗っている。	・お子さまと衣服類を合わせて8kg以下の荷重にしてください。

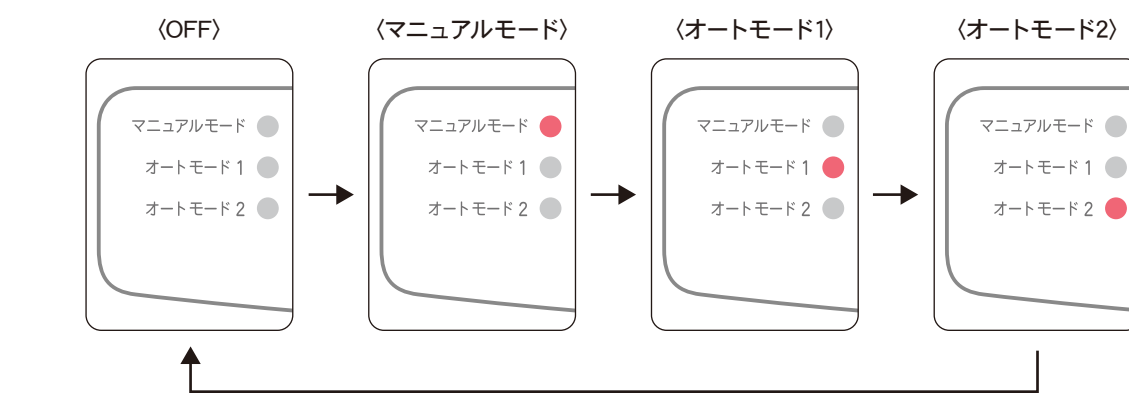
- ④ゆっくりとスウィングが始まったら、スウィングスピード・コントロールボタン ④ を押してスピード調節をしてください。
- ・スピードは4段階調節です。マニュアルモードで一番速いスピードのスウィングは10分以内、他のスピードのスウィングは15分以内で止まります。
- ・スウィングボタン ② を押して最初にお使いいただく際は、マニュアルモードで一番ゆっくりなスピードからスウィングが始まります。
- ・スウィングスピード・インジケータにスピードが表示されます。

〈オートモードの使い方〉 本製品には、2種類のスウィングプログラムが内蔵されております。

- ①主電源 ① を押し、ONにします。スイッチ下のインジケータが点灯します。
- ②スウィングボタン ② を押します。
- ③スウィングモード・インジケータの「マニュアルモード」が点灯し、スウィングを開始します。

・もし、車体が斜めになっている、スウィング開始時に何かが引っかかり正常にスウィングが出来ない場合、スウィングモードインジケータが「点滅」し「エラー」を表示します。
「エラー」を表示した場合、P33「エラーが出た場合」をご確認ください。

- ④スウィングが開始されたら、スウィングボタン ② を押し「オートモード1」「オートモード2」を選択してください。
- ・スウィングボタン ② を1回押す度、「マニュアルモード」→「オートモード1」→「オートモード2」→「OFF(停止)」と繰り返されます。



- ・「オートモード1」お子さまを落ち着かせたり、あやしたりすることを目的としたもの。前半をやや早めのスウィングでスタートし、徐々にゆっくりめのスウィングになります。
- ・「オートモード2」寝かしつけることを目的としたもの。前半から、ややゆっくりめのスウィングです。
- ・オートモードは、複数のスウィングスピードを組み合わせたモードで、一定のスウィングスピードではありません。
(お子さまの個人差やその時点での体調など個人差があるため、お子さまの状態を確認しながらオートモードをお選びください。また必ず効果が期待できるものではありません。)
- ・各モードは、1回15分間で自動停止する設定になっておりますが、スウィングの途中でモードを切り替えた場合は、切り替え時点から15分間以内で自動停止します。

〈電動スウィングの止め方〉

- ①スウィングボタン ② を約1秒以上長押し、または、主電源 ① を押してください。
- ②スウィングが停止し、インジケータが消えたことをご確認ください。

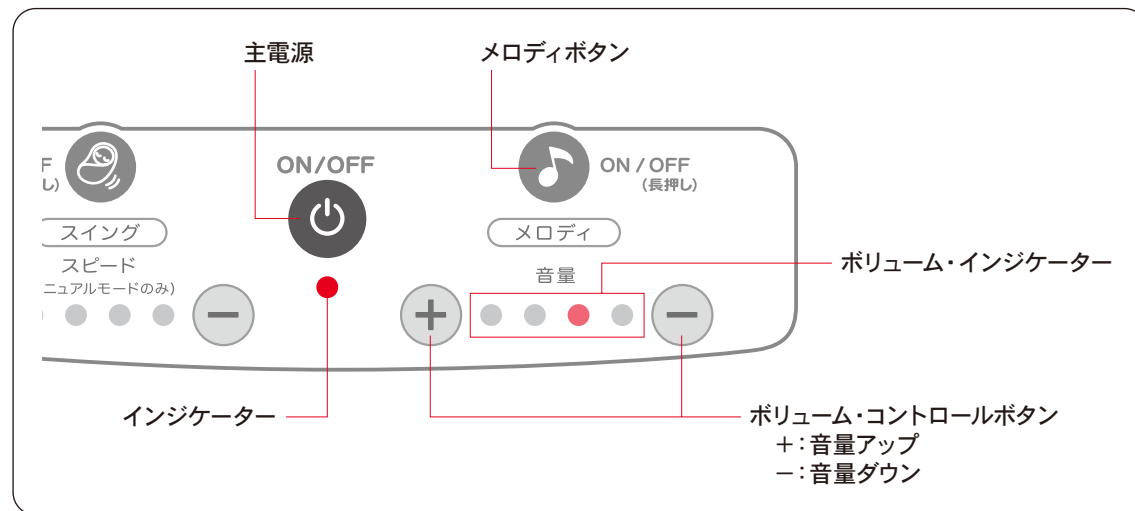
⚠ 警告

・電動スウィングの使用中は、お子さまを降ろさない。センサーのはたらきでスウィングが速くなり、保護者がバランスを崩したり、製品が他のお子さまに当たるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ・スウィングボタン ② を押してスウィングを止め、もう一度スウィングボタン ② を押した場合、マニュアルモードから始まります。

メロディ機能の使い方

- ・8曲のメロディがあります。
- ・メロディだけで使用することも、スウィングと一緒に使用することもできます。



- 〈曲目〉
- 1曲目 ブラームスの子守唄
 - 2曲目 バッハ メヌエット
 - 3曲目 モーツァルトの子守唄
 - 4曲目 キラキラ星
 - 5曲目 ブラームスのワルツ
 - 6曲目 ノクターン
 - 7曲目 モーツァルト ピアノソナタ
 - 8曲目 シューベルトの子守唄
 - OFF 曲が停止します。

(メロディは、編曲されたオルゴール音です。)

- ・メロディボタン を押すたびに、切り替わります。
- 8曲目から、メロディボタン を1回押すと「OFF」になります。

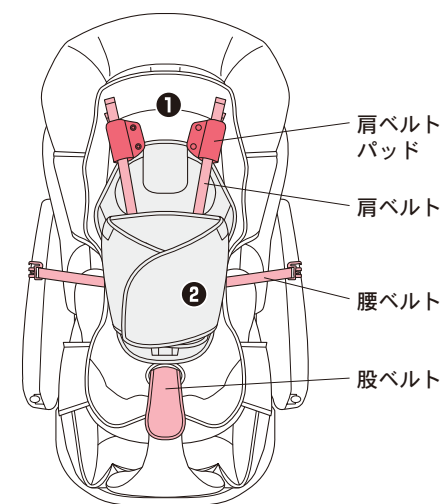
- 主電源 を押し、ONにします。スイッチの下のインジケーターが点灯します。
- メロディボタン を押します。
- ボリューム・インジケーターが点灯し、メロディを開始します。
- ボリューム・コントロールボタン を押して、音量調節を行ってください。
ボリュームは、4段階調節です。ボリューム・インジケーターに音量が表示されます。
メロディボタン を押して最初にお使いいただく際は、一番小さい音量から始まります。
- メロディは、1曲目から順番に流れます。8曲目が終わると、1曲目に戻ります。
電動スウィングと一緒に使用している場合、電動スウィングが終了すると同時にメロディも止まります。

〈メロディの止め方〉

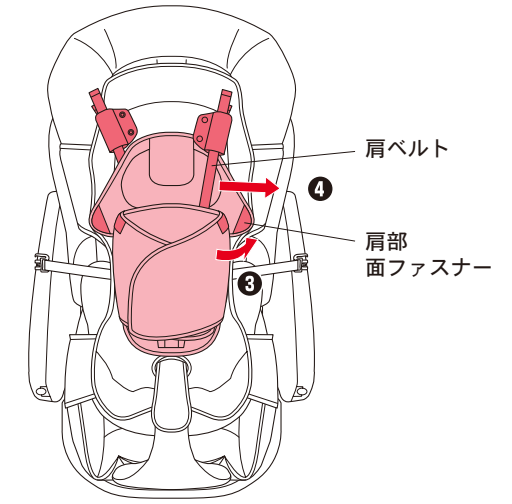
- メロディボタン を約1秒以上長押し、または、主電源 を押してください。
- メロディが止まり、インジケーターが消えたことをご確認ください。
・メロディボタン を押して、メロディを止め、もう一度メロディボタン を押した場合、前回終わった時と同じ曲目の初めから、一番小さい音量で始まります。
- 主電源 を押してメロディを止め、もう一度、主電源 、メロディボタン と、押した場合一番最初の曲を一番小さい音量から開始します。

縫製品の取り外し方

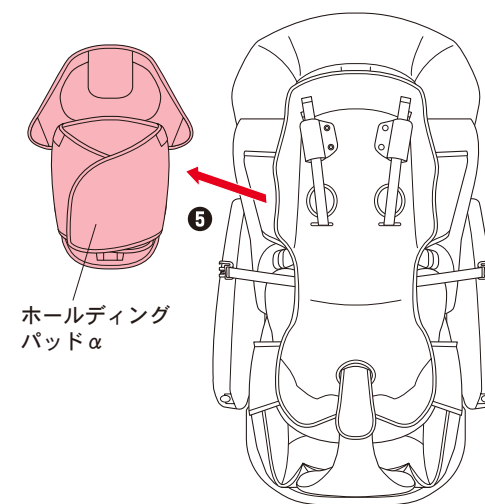
〈ホールディングパッドα・寝かせ替えクッション・U字クッションの取り外し方〉



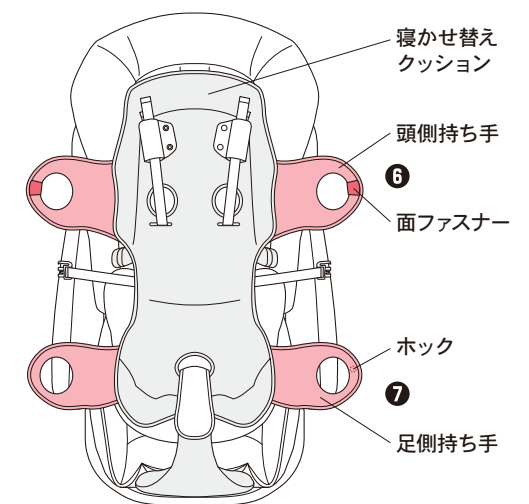
- 肩ベルトパッドのホックを外す。
- 股バックルのボタンを押して、バックルから腰ベルト、肩ベルトを外す。



- ホールディングパッドαの肩部面ファスナー(左右)を外す。
- 肩ベルトを横方向に抜く。

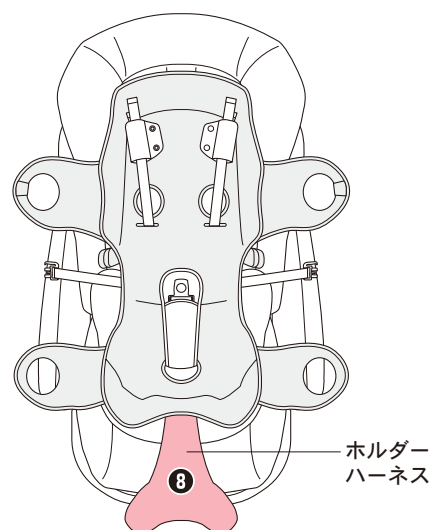


- ホールディングパッドαを取り外す。

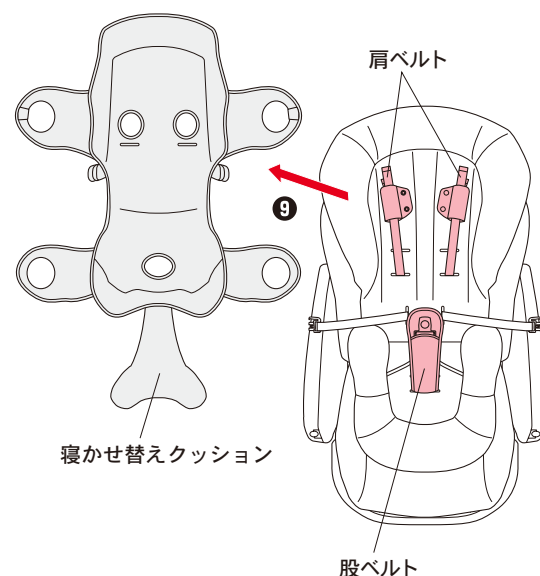


- 寝かせ替えクッションの頭側の左右の持ち手の面ファスナーをクッションマットから外す。
- 寝かせ替えクッションの足側の左右の持ち手のホックをクッションマットから外す。

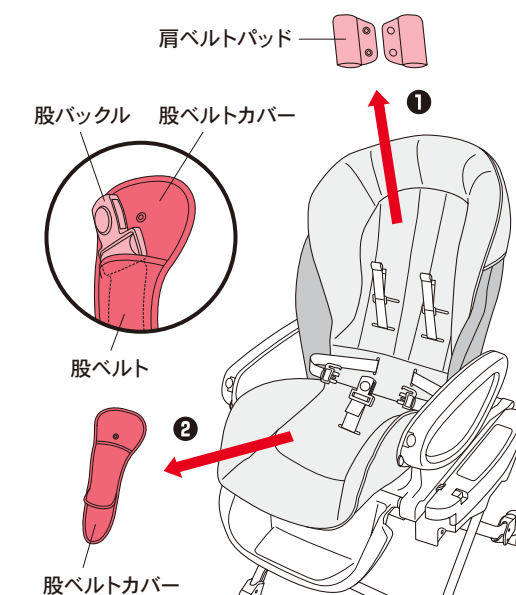
〈肩ベルトパッド・股ベルトカバー・クッションマット・ベースシートの取り外し方〉



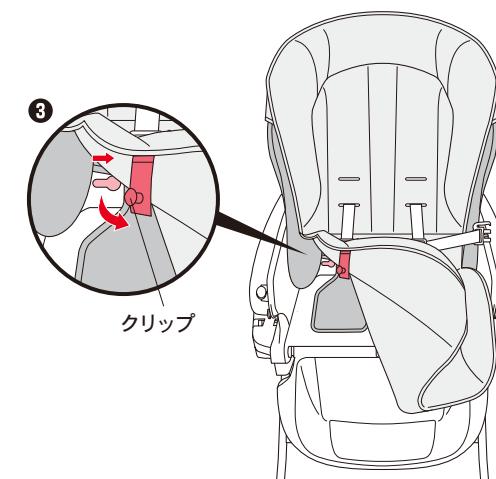
⑧寝かせ替えクッションのホルダーハーネスのホックをクッションマットから外す。



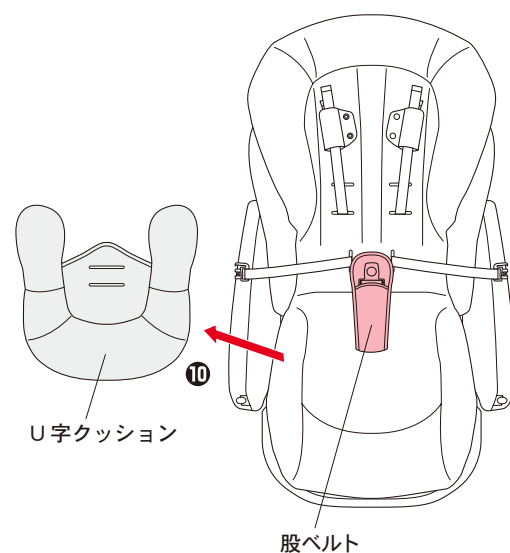
⑨肩ベルト、股ベルトを抜き、寝かせ替えクッションを取り外す。



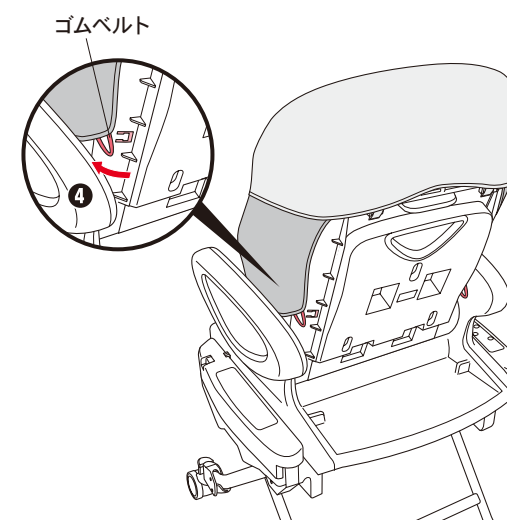
①肩ベルトパッドを抜き取る。
②股ベルトカバーのホックを外し、抜き取る。



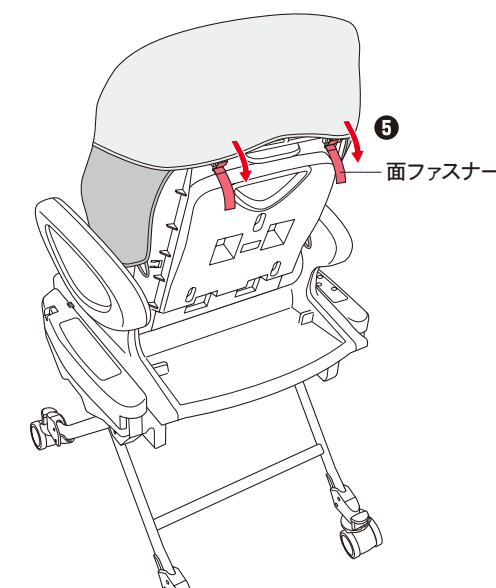
③座面のクリップを内側にスライドさせて抜く。(左右)



⑩股ベルトを抜き、U字クッションを取り外す。

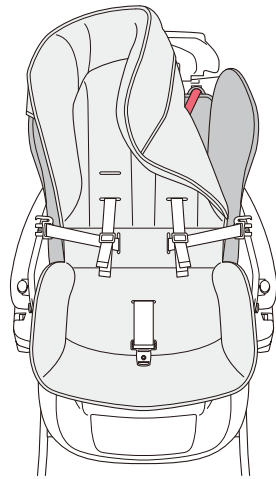


④背もたれ背面のゴムベルトを外す。(左右)

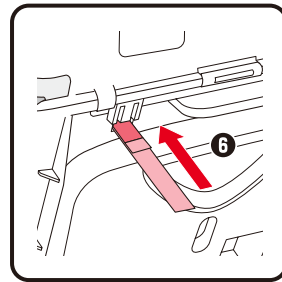
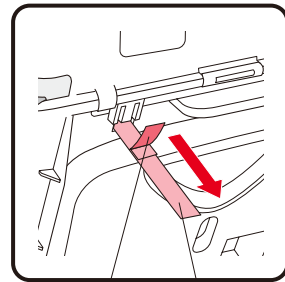


⑤背もたれ背面の面ファスナーを外す。(左右)

縫製品の取り外し方

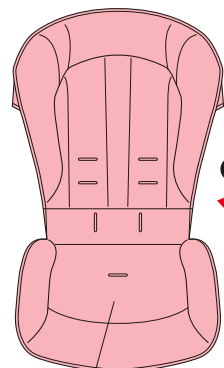


〈背もたれ背面〉

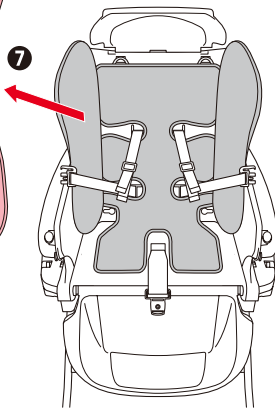


折り返し部分 面ファスナー

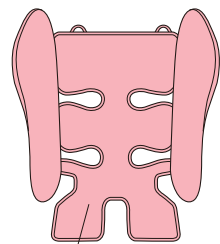
⑥クッションマットのヘッド部をめくり、背もたれ背面の面ファスナーを引き、折り返し部分を通し穴に合わせ、前面方向へ抜き取る。(左右)



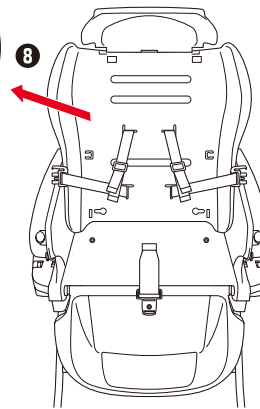
クッションマット



⑦肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを抜き、クッションマットを取り外す。



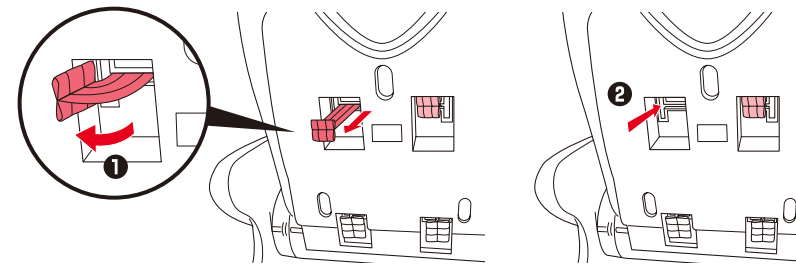
ベースシート



⑧肩ベルト、腰ベルトを抜き、ベースシートを取り外す。

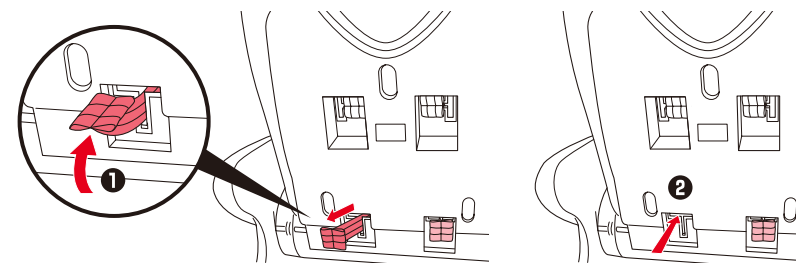
肩ベルト・腰ベルトの取り外し方

〈肩ベルトの取り外し方〉



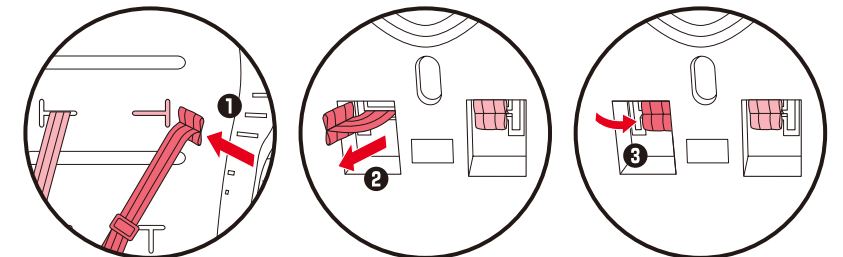
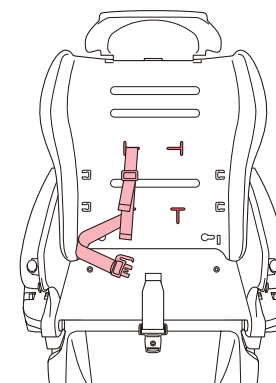
- ① 背もたれ背面の肩ベルトを引き、T字部分を通し穴にあわせる。
- ② 前面方向へ肩ベルトを抜き取る。

〈腰ベルトの取り外し方〉

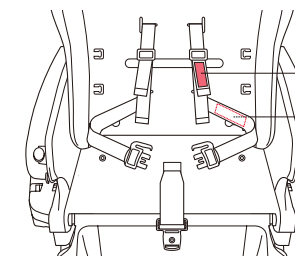


- ① 背もたれ背面の腰ベルトを引き、T字部分を通し穴にあわせる。
- ② 前面方向へ腰ベルトを抜き取る。

肩ベルト・腰ベルトの取り付け方



- ①肩ベルト・腰ベルトの本体への取り付けは、本体正面からT字部分の形をあわせて差し込む。
- ②背もたれ背面側から肩ベルト・腰ベルトを引き出す。
- ③肩ベルト・腰ベルトのT字部分を横向きにして抜けないようにする。



〈警告ラベル〉



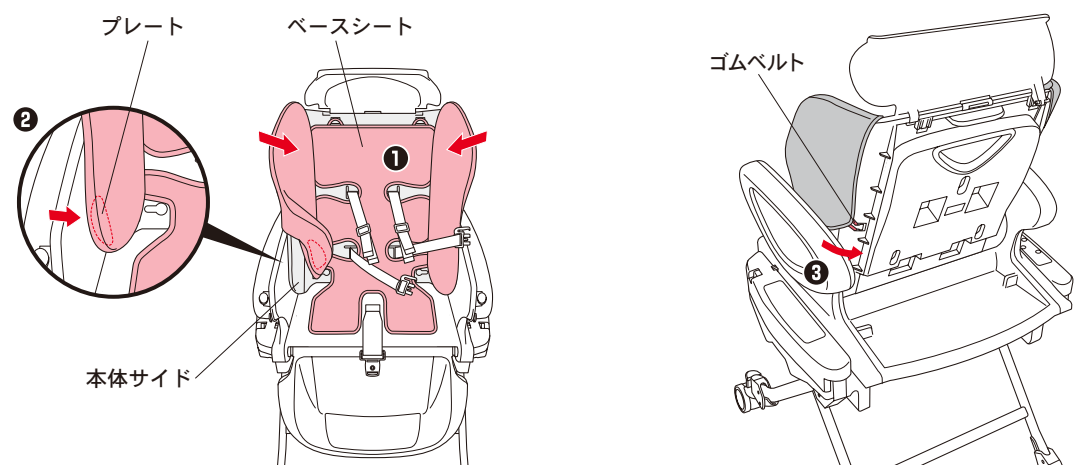
注意 ・肩ベルト、腰ベルトには左右があります。向かって右側の肩ベルト、腰ベルトには、上記の警告ラベルがついています。警告ラベルが表に見える向きに取り付けてください。

縫製品の取り付け方



・ベースシート・クッションマットを取り外した状態で、お子さまを乗せて使用しない。

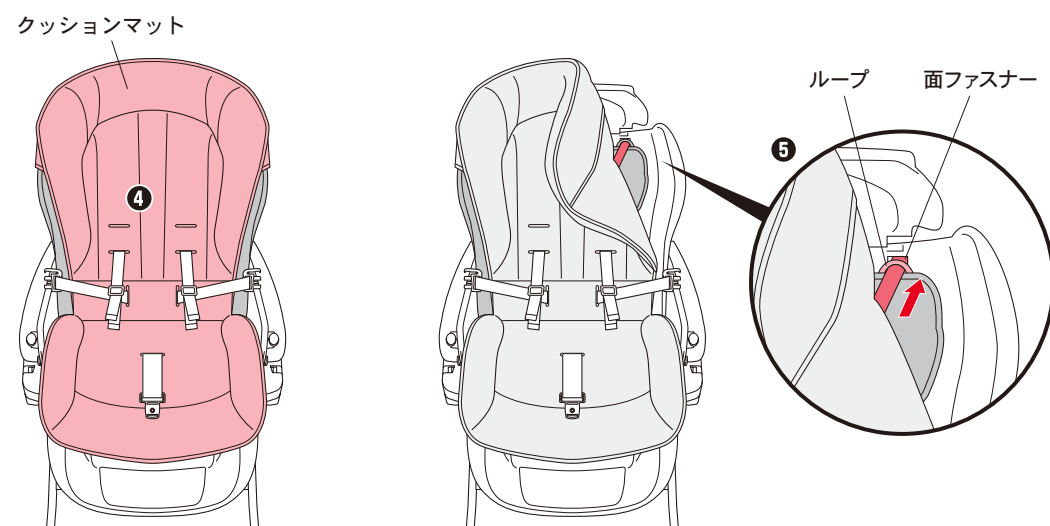
〈ベースシートの取り付け方〉



- ① ベースシートの通し穴に肩ベルト、腰ベルトを通し、本体サイドにかぶせる。(左右)
② プレートを本体サイドに差し込む。(左右)

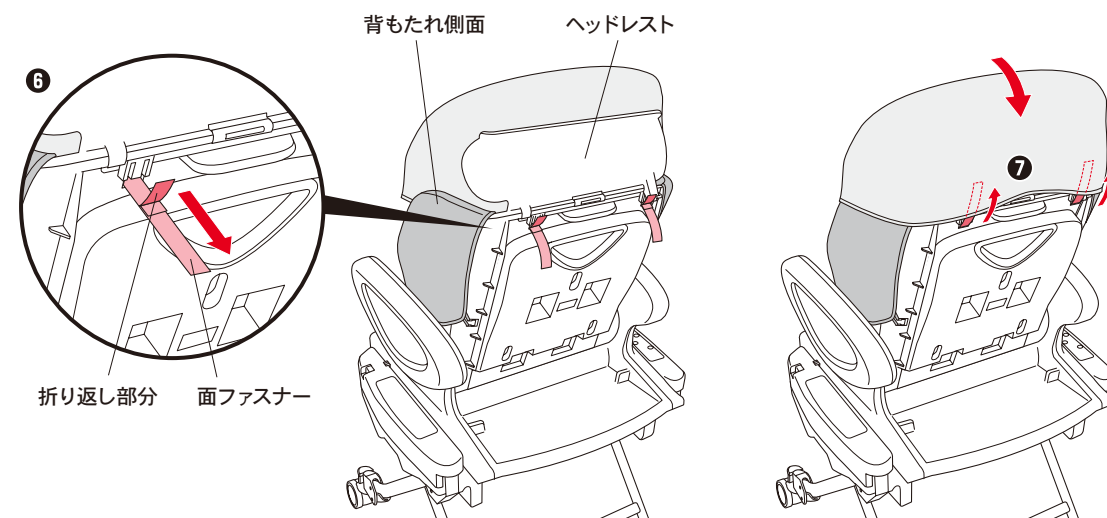
- ③ 背もたれ背面のゴムベルトをとめる。(左右)

〈クッションマットの取り付け方〉



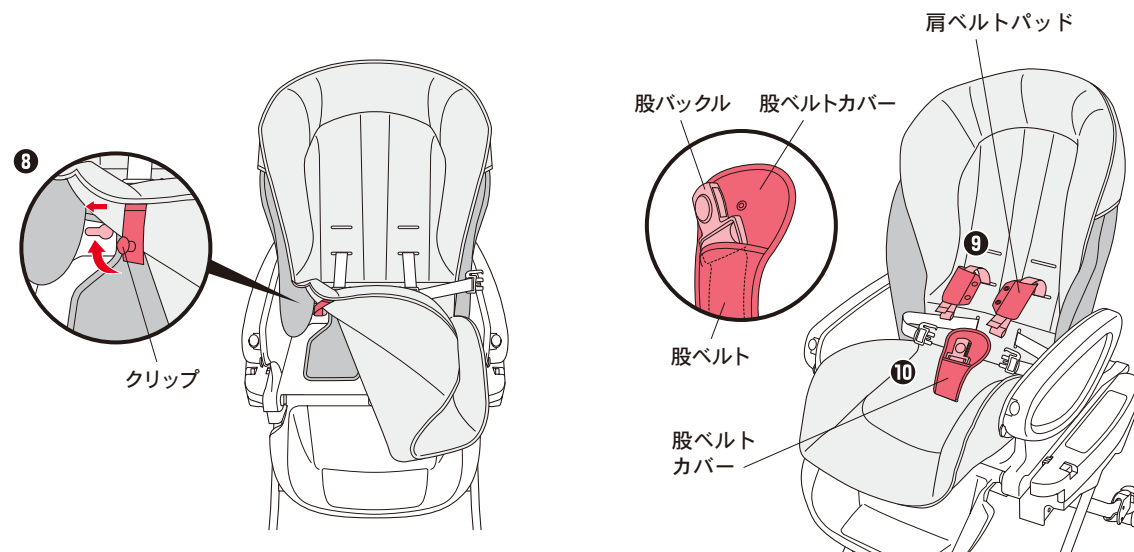
- ④ クッションマットの通し穴に肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを通す。

- ⑤ 面ファスナーをベースシートのループに通し、背もたれに差し込む。(左右)



- ⑥ 背もたれ背面側から面ファスナーを引き出す。(左右)
※折り返し部分が引き出され、面ファスナーが抜けないことを確認してください。

- ⑦ クッションマットを背もたれ側面とヘッドレストにかぶせ、面ファスナーをとめる。(左右)

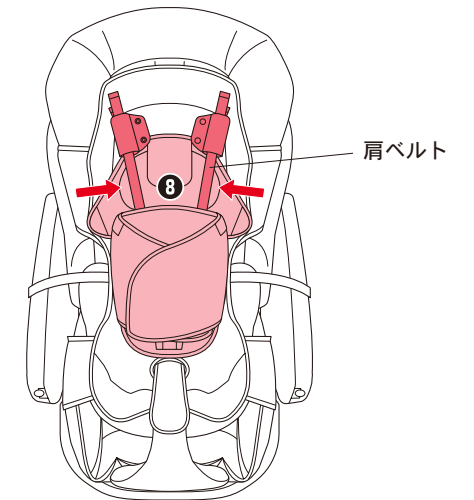
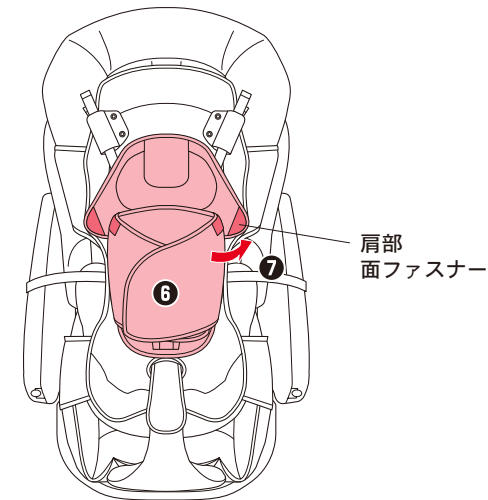
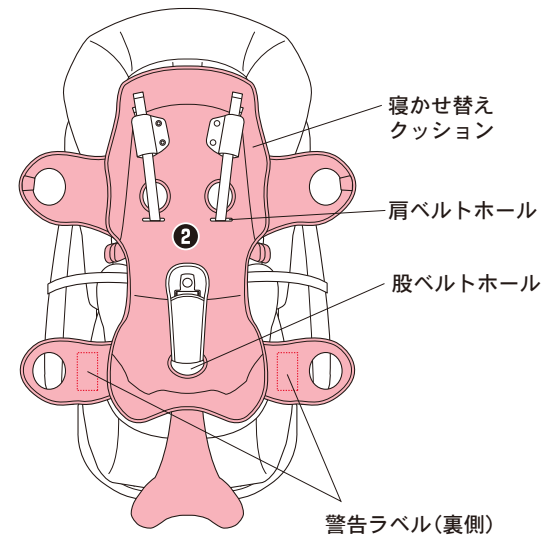
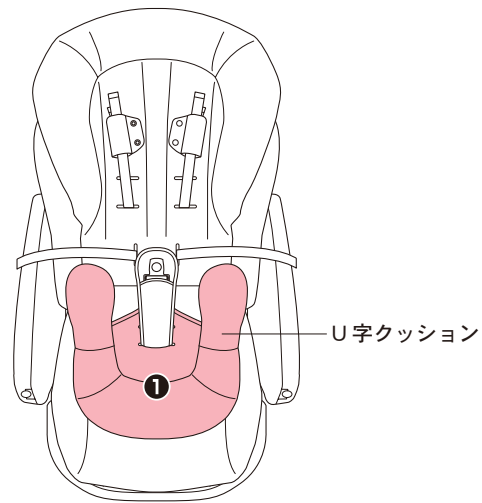


- ⑧ 座面のクリップを差し込み、外側にスライドさせて固定する。(左右)

- ⑨ 肩ベルトパッドを通す。(左右)
⑩ 股ベルトカバーを通し、ホックをとめる。

縫製品の取り付け方

〈U字クッション・寝かせ替えクッション・ホールディングパッドαの取り付け方〉

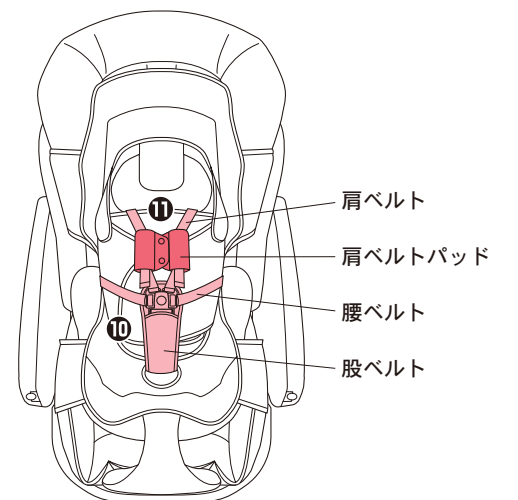
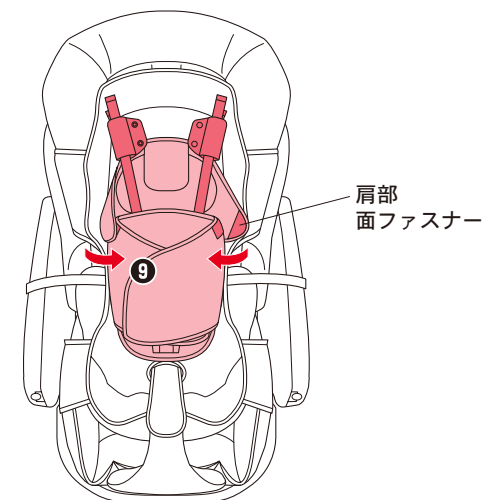
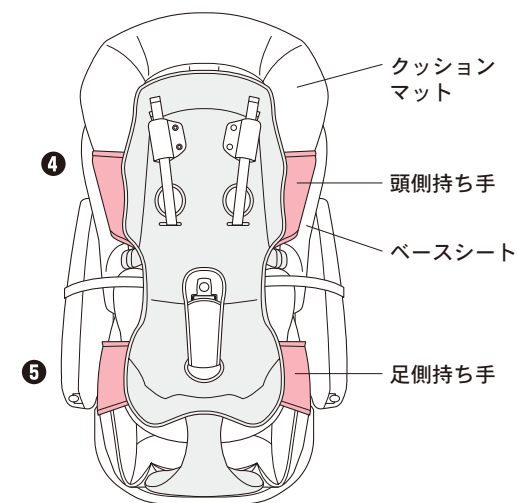
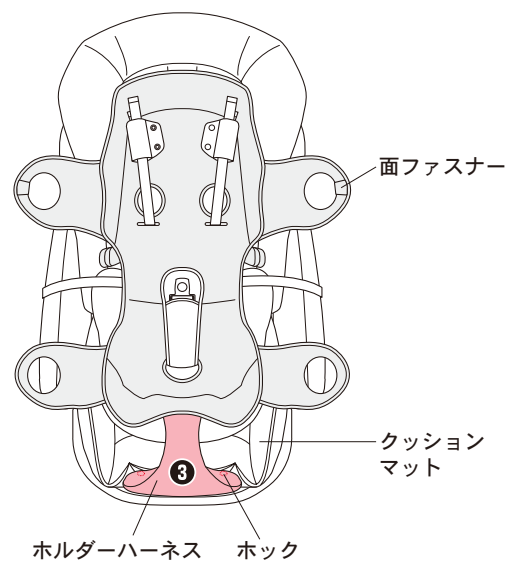


① 股ベルトを通し穴に通し、U字クッションを取り付ける。(P17参照)

② 肩ベルトを肩ベルトホール、股ベルトを股ベルトホールに通し、警告ラベルが裏側になるように寝かせ替えクッションを取り付ける。(P17参照)

⑥ ホールディングパッドαをのせる。
⑦ ホールディングパッドαの肩部面ファスナーを外す。(左右)

⑧ ホールディングパッドαの肩部のスリットに肩ベルトを入れる。(左右)



③ ホルダーハーネスをクッションマットの裏側に折り返し、ホックをとめる。

④ 頭側の左右の持ち手をベースシートとクッションマットの間に、面ファスナーをとめる。
⑤ 足側の左右の持ち手をベースシートとクッションマットの間に、ホックをとめる。

⑨ ホールディングパッドαの肩部面ファスナーをとめる。(左右)

⑩ 肩ベルトを肩ベルトフックに差し込み、腰ベルトを股バックルに差し込む。(P15 参照)
⑪ 肩ベルトパッドのホックをとめる。

日常のお手入れ

縫製品の洗浄方法

クッションマット、ベースシート、肩ベルトパッド、股ベルトカバー、ホールディングパッドα、U字クッション、寝かせ替えクッションの洗浄について

- ・以下の点に注意して洗濯してください。（乾燥機は使用しないでください。）



注意

- ・縫製品を屋外で干す時は、日陰の平干しにしてください。
- ・ホールディングパッドα、寝かせ替えクッションを洗濯する時は、面ファスナーを必ずとめてください。

※お子さまは汗をかきやすいので、できるだけシートを清潔に保ちましょう。

肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの洗浄について

- ・丸洗いせずに、以下の要領で洗浄してください。
- 水溶性の汚れ**（果汁、ヨダレ、オシッコなど）の場合
40℃前後の湯にタオルを浸し、軽く絞って汚れた所を十分に洗います。その後、乾いたタオルなどで十分に水分を取って日陰で乾燥させます。
- 非水溶性の汚れ**（牛乳、油脂、マヨネーズなど）の場合
中性洗剤を40℃前後の湯に溶かし、タオルに浸し、汚れた所を十分に洗います。その後、冷水又は温水にタオルを浸し中性洗剤を洗い流し、乾いたタオルなどで十分に水分を取って、日陰で乾燥させます。

車体のお手入れ



注意

- ・シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。
- ・破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、必ず弊社サービスの点検、修理を受けてください。

〈樹脂部分のお手入れについて〉

- ・汚れは、水に浸して固く絞った布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤で拭き取った後、乾いた布で仕上げてください。

〈金属・パイプなどのお手入れについて〉

- ・フレームについたホコリなどは、そのまま放置しないで必ず拭き取ってください。拭き取りにはよく絞ったぬれタオルを使用してください。

〈車輪のお手入れについて〉

- ・車輪の汚れがひどいときには、中性洗剤で拭き取ります。その後、よく絞ったぬれタオルで中性洗剤を拭き取ってください。

〈ネジ・ナット類について〉

- ・ネジ、ナット類のゆるみがないか、時々点検の上、ゆるみが生じた場合はしめなおしてください。

困った時

- ・下記の対処方法で解決しない場合は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。（P48参照）

〈ご使用中に困った時〉

お気づきの点	対処方法
電動スウィングしない	<ul style="list-style-type: none">・電源コードとACアダプター、コネクタと本体、電源プラグとコンセントの接続を確認してください。（P32参照）・スウィングロックがロックされていないか確認してください。（P31参照）・お子さまが動かれたりすると、センサーがお子さまの体重を正確に感知できない場合があります。再度お子さまを乗せ直してください。（P15参照）・衣類を含めて総荷重が8kgを超えていないか確認してください。（P2参照）・温度変化による結露の発生によりセンサーが作動しない場合があります。使用する部屋で2時間程度放置し、再度スタートさせてください。・電動スウィングを長時間使用した場合、安全のためにスウィングが停止します。（操作パネルのマニュアルモード、オートモード1、オートモード2のインジケーターが同時に点滅します。）操作パネルの主電源ボタンを押して電源を切り、使用する部屋で1時間ほど放置し、再度スタートさせてください。
スムーズにスウィングしない	<ul style="list-style-type: none">・本体を段差のない水平な床に置いてください。・お子さまを適切な位置に乗せないと座面が浮き上がり正常にスウィングしない場合があります。お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せてください。（P15参照）
メロディの音が出ない	<ul style="list-style-type: none">・電源が入っているか確認してください。（P35参照）・周りの状況により聞こえにくい場合があります。音量レベルを上げて確認してください。（P35参照）
スウィング中に本体が動く	<ul style="list-style-type: none">・キャスターがロックされているか確認してください。（P15参照）・車輪の外周を水でうすめた中性洗剤を布に含ませて汚れを拭き取ってください。（P45参照）

製品仕様

・アダプター

定格電圧(アダプター).....AC100V 定格消費電力(最大).....36W
定格周波数.....50／60Hz

保管について

- ・本体をポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。
- ・上に荷物を置いたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。



注意

- ・火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しないでください。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。

廃棄について

- ・お住まいの各自治体の指示に従って処分してください。
- ・環境保護のため、指示された場所以外には廃棄しないでください。

SGマーク制度について



SGマーク付き製品は安全性が高く、安心してお使いいただけるものですが、製品安全協会では損害保険会社と生産物賠償責任保険の契約を結んでおり、SGマーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施します。

ただし、ハイローベッド&チェアの場合、ご購入後4年以内の製品が対象となります。

賠償についてのご注意

SGマーク被害者救済制度は、SGマーク付き製品の欠陥によって傷害などの身体的な損害(人的損害)について賠償する制度です。この制度は、SGマーク付き製品そのものが故障した場合に補償するものではなく、また、SGマーク付き製品の欠陥によって他の物に生じた損害(物的損害)を賠償するものではありません。

製品の欠陥によって事故が起きた場合

事故が起きたら、すぐに製品安全協会へ連絡してください。

連絡後、製品安全協会から送付されてくる事故発生届等を提出していただきます。(原則として60日以内)

製品安全協会 〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL 03-5808-3300

〈事故の届出に必要な項目〉

- ①事故の原因となったSGマーク表示の製品
イ)製品の名前、SGマーク番号 ロ)製品の購入先、購入年月
- ②事故発生の状況
イ)事故発生年月日 ロ)事故発生場所 ハ)事故発生状況
- ③被害の状況
イ)被害者の氏名、年齢、性別、職業、住所 ロ)被害の状況と程度

電気用品安全法(PSEマーク)について

- ・ACアダプターにはPSEマークが表示されています。
- ・電気用品安全法は、電気製品が原因の火災や感電などから消費者を守るために施行された法律で、日本国内で100Vコンセントに接続して使用されるほとんど全ての民生用電気製品が対象となる安全規格です。PSEマークは、電気製品が安全性を満たしていることを示すマークです。

保証とアフターサービスについて

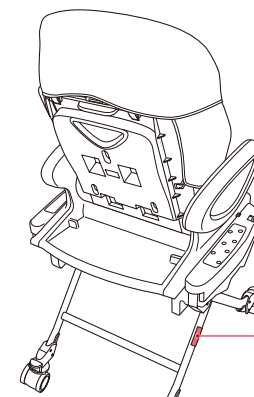
〈保証について〉

- ・保証期間中(お買い上げ日より1年間です。)に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理をいたします。故障の箇所によっては、修理できない場合がございます。ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。(修理箇所の保証期間は1カ月です。)
- また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。(部品の保有期間は、製造中止後3年間です。ただし、3年以内であっても部品の色、柄などについては、ご希望に添えない場合があります。)

〈アフターサービスについて〉

- ・ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、各部の固定部などにゆるみやきしみ音があったり、部品の欠落、車輪の回転の円滑さに異常がある場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号(下図参照)をご確認のうえ、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

- ・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、本製品脚部の品名・品番・ロット番号を必ずお伝えください。



品名・品番・ロット番号シール

お買い上げ時レシート
貼り付け位置

- ・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、お買い上げ時のレシート(領収書)を貼り付けてください。

アフターサービスについての連絡先

アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

受付時間:AM10:00~PM5:00(土、日、祝日、弊社所定休日を除く)

.....
〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉

〒632-0231 奈良県奈良市都祁吐山町2364-5

アップリカ 奈良サービスセンター ☎(06)4300-4949
